

MAKE THE
WORLD SEE

Milestone Systems

XProtect® Smart Client 2024 R1

ユーザーマニュアル（簡易版）



目次

著作権、商標、および免責条項	6
サポートされる VMS 製品とバージョン	7
ビュー(設定)	8
ビューおよびビューグループ（説明付き）	8
ビューの内容	9
ビューグループの作成	11
ビューの作成	11
カメラと他のアイテムをビューに追加	12
ビューの管理	13
ビューとカメラの検索（説明付き）	13
一時的に各カメラを変更	15
カメラの切り替え	15
表示中のビューの間でビデオを送信する	16
追加の表示タブを開き、再び閉じます	16
複数のビューで同時にビデオを見る	17
サブウィンドウの時間をメインウィンドウと同期させます	18
サブウィンドウで作業する	18
カメラとビューのナビゲーション	20
ホットスポット（説明付き）	20
ホットスポットの使用	20
画面自動切替（説明付き）	20
画面自動切替を使用する	21
デジタルズーム（説明付き）	21
デジタルズームの使用	22
仮想ジョイスティックおよびPTZオーバーレイボタン（説明付き）	23
ビューとショートカット（説明付き）	24
キーボードショートカット（概要）	24

ライブビデオを閲覧する	27
ライブビデオ（説明付き）	27
ライブモード（概要）	28
カメラツールバー（概要）	29
カメラツールバーを非表示にする	31
カメラインジケータ（説明付き）	31
ビデオの手動録画	32
スナップショットを保存	33
インシデントの調査	34
録画されたビデオを見る（説明付き）	34
再生モード	35
ライブモード	36
検索タブ	36
再生モード（概要）	37
録画したビデオをメインのタイムラインとは別に表示	38
検索結果の調査	39
メインタイムライン	39
タイムライン追跡	40
縦線	41
タイムラインからの録画の操作	41
タイムラインコントロール	41
ビデオデータの検索	48
ビデオの検索	48
モーションの検索（スマートサーチ）	52
モーション検知しきい値（説明付き）	54
ブックマークの検索	54
アラームの検索	56
イベントの検索	56
人物の検索	57
車両の検索	57

特定の場所で録画されたビデオを検索	58
検索結果、設定、アクション	59
検索タブでタイムラインを検索	59
検索結果から利用できるアクション（概要）	60
MIP関連のアクション	61
マージされた検索結果（説明付き）	61
検索条件の一部またはすべてに一致（説明付き）	62
カメラまたはビューから検索を実行	62
サブウィンドウで検索結果を開く	63
検索結果からビデオをプレビュー	63
検索中にバウンディングボックスを表示/非表示にする	65
並べ替えオプション	65
検索中にカメラの位置を特定する	67
カメラアイコン（説明付き）	69
検索結果のブックマーク	70
検索結果のブックマークを編集する	72
検索結果のスナップショットを撮る	73
検索時間をメインタイムラインに転送	74
検索の管理	75
検索条件の保存	75
保存した検索条件を探して開く	76
保存した検索条件の編集または削除	78
エビデンスビデオのエクスポート	80
ビデオ、音声、静止画像のエクスポート	80
エクスポート形式	80
エクスポートリストにビデオシーケンスを追加	81
エクスポート設定の調整	82
エクスポートを作成	83
エクスポート中にプライバシーマスクを録画に追加	85
ストーリーボード（説明付き）	85

ストーリーボードのエキスポート	85
ロックされたエビデンスビデオのエキスポート	86
エキスポートされたビデオの表示	86
監視レポートの印刷または作成	87
単一カメラからレポートを印刷	87
検索結果からレポートを作成	88
画像をクリップボードにコピー	89
用語集	90

著作権、商標、および免責条項

Copyright © 2024 Milestone Systems A/S

商標

XProtect は Milestone Systems A/S の登録商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。Android は Google Inc. の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

免責条項

本マニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生するリスクはすべて、使用者が負うものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事柄も保証するものではありません。

Milestone Systems A/S は、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の規約が適用される可能性があるサードパーティー製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はMilestoneシステムインストールフォルダーにあるファイル`3rd_party_software_terms_and_conditions.txt`をご参照ください。

サポートされる VMS 製品とバージョン

このマニュアルでは、次の XProtect VMS 製品でサポートされる機能について説明します。

- XProtect Corporate
- XProtect Expert
- XProtect Professional+
- XProtect Express+
- XProtect Essential+

Milestone は、XProtect VMS 製品の現行のバージョンと以前の 2 つのバージョンを使用して、本書に記載されている機能をテストします。

新しい機能が現在のリリースバージョンでのみサポートされており、以前のリリースバージョンではサポートされていない場合は、機能の説明にこれに関する情報が記載されます。

下記の販売が終了した XProtectVMS 製品でサポートされている XProtect クライアントと拡張機能のドキュメントは、Milestone ダウンロードページ (<https://www.milestonesys.com/downloads/>) にあります。

- XProtect Enterprise
- XProtect Professional
- XProtect Express
- XProtect Essential

ビュー(設定)

セットアップモードでは、ビューを作成し、各ビューに含めるカメラや他のタイプのコンテンツを指定できます。ビューを整理して表示するには、ビューグループを少なくとも1つ作成する必要があります。これは頻繁にシステム管理者が行います。



ビューとグループを編集できるかどうかは、ユーザー権限によって異なります。ビューまたはグループを作成できる場合は、その編集も可能です。

ビューおよびビューグループ（説明付き）

XProtect Smart Clientでビデオを表示する方法をビューと呼びます。XProtect Smart Clientでは無制限の数のビューを取り扱うことが可能で、さまざまなグループのカメラからのビデオを切り替えることができます。ビューには1~100台のカメラを含められますが、他のタイプのコンテンツ（画像やテキストなど）を含めることも可能です。

ビューは、整理しやすいようビューグループに入れる必要があります。

ビューはライブおよび再生モードで利用できます。ビューには、プライベートビューと共有ビューがあります。

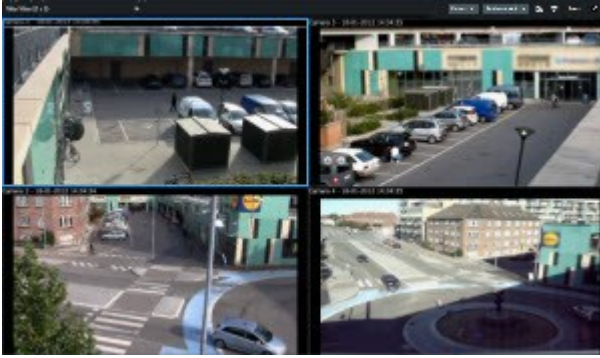
- プライベートビューは、そのビューを作成したユーザーだけがアクセスできます。ビューをプライベートにするには、**プライベート**フォルダ内でビューを作成します。
- 共有ビューを使うと、複数のオペレータが同じビューを共有できます。お使いになっているXProtect VMSシステムによって以下が可能です：
 - **共有**または**デフォルトグループ**という名前のついた、共有ビューのデフォルトフォルダがある場合もあります
 - 共有ビューは、すべてのオペレータで共有できる場合と、特定のオペレータのみが選択された共有ビューにアクセスできる場合があります。通常、組織内で、共有ビューを作成して編集できる権限を持つユーザーは限られています（システム管理者など）。



ユーザー全員が、XProtect VMSシステムですべてのカメラにアクセスできるわけではありません。共有ビューに含める機能のうち、一部の機能は以前のバージョンのXProtect Smart Clientではサポートされていない場合があります。必ず、共有するユーザーに必要な権限があり、同じXProtect Smart Clientバージョンを実行していることを確認してください。

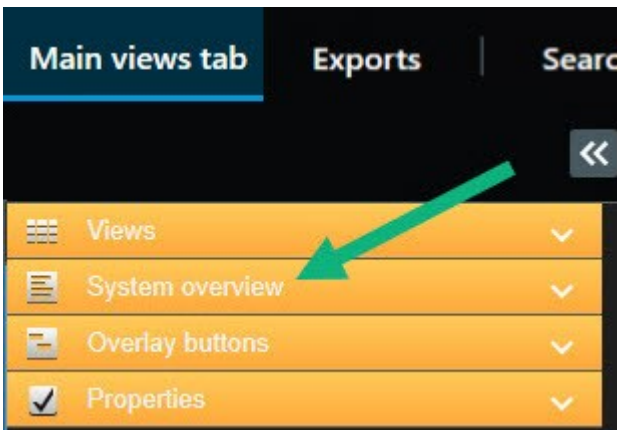
ビューに関する情報などのユーザー設定はXProtect VMSサーバーに一元的に格納されるため、XProtect Smart Clientがインストールされているどのコンピュータでもビューを使用できます。

2x2ビューの例



ビューの内容

設定モードの**システム概要**ペインには、ビューに追加できる要素が表示されます。



コンテンツの種類	目的とメリット
アラーム	優先順位を付けたアラームのリストを共有することで、XProtect Smart Clientユーザーはアラーム関連のインシデントに集中して対応することができます。
カメラ	カメラのライブビデオや録画ビデオを表示します。
画面自動切替	カメラグループ内の各カメラからのライブビデオを順番に表示するので、自分の地域で何が起きているかを把握できます。

ホットスポット	同じビュー内の他のビューアイテムでカメラを選択すると、ホットスポットビューアイテムでより高画質でビデオを見ることができます。
マップとスマートマップ	地理マップを使用して、XProtectVMSシステム上のカメラおよびデバイスにアクセスできます。マップにより、ご自分の地域の状況認識が向上します。
Matrix	同僚同士が、インシデントの認識とコラボレーションを向上させるために、お互いにライブビデオストリームを送信することができます。
静止画像	例えば、容疑者のスナップショットや非常避難経路を共有します。
テキスト	例えば、メッセージの送信、指示の共有、警備員の勤務スケジュールをポストしたりします。
HTMLページ	リンクやオンライン指示を提供したり、会社のウェブページを表示します。

組織にXProtect拡張機能がある場合は、これらの拡張機能に関連するコンテンツを追加することもできます。

コンテンツの種類	目的とメリット
アクセスモニター	XProtect Access が必要です。例えば特定のドアのビューにアクセスモニターを追加できます。
ナンバープレート認識	XProtect LPR が必要です。ナンバープレート認識カメラをビューに追加します。
Smart Wallコントロール	XProtect Smart Wall が必要です。カメラや他のタイプのコンテンツからのビデオをビデオウォールにプッシュします。
Transact	XProtect Transact が必要です。PoS システムなどのメタデータをビューに追加することができます。


ビューグループの作成

お使いのXProtect Smart Clientは、（ビューを追加することのできる）ビューグループが表示できるように事前に設定されている可能性があります。ただし、ビューを整理しやすいように独自のビューグループを作成できます。

例

高層ビルにおいてカメラが10階に設置されている状況を想像してみてください。このような状況では、階ごとにビューグループを作成し、これらに適宜に名前を付けることになるでしょう：**1階**、**2階**、**3階**など。

手順：

1. セットアップモードの**ビュー**ペインで、グループを追加する**個人**または**共有**の第1階層フォルダを選択します。
2. **新規グループを作成**をクリックします 。
新規グループという名前の新しいグループが作成されます。
3. **新規グループ**を選択し、クリックして、名前を上書きします。
4. これで、このグループ内でビューを作成できるようになりました。


ビューの作成

XProtect Smart Clientでビデオの表示または再生をするには、まず必要なカメラを追加するためにビューを作成する必要があります。

要件

ビューを作成する前に、ビューを追加できるグループが必要です。[11ページのビューグループの作成](#)もご参照ください。

手順：

1. ワークスペースのツールバーで、**[設定]**を選択して設定モードに入ります。
2. **ビュー**ペイン内で、ビューを追加したいグループを選択します。
3. 新しいビューを作成するには、をクリックします。

- レイアウトを選択します。レイアウトはアスペクト比、通常のコンテンツまたは縦長のコンテンツ（高さが幅より大きい場合）に対して最適化されているかどうかに基づいてグループ化されます。



- デフォルトの**新規ビュー**の名前を上書きして、ビューの名前を入力します。
- もう一度 **[設定]** を選択して設定モードを終了し、変更を保存します。

カメラと他のアイテムをビューに追加

例えばカメラなど、異なるタイプの要素をビューに追加できます。も参照

手順：


- 変更したいビューを開きます。
- ワークスペースのツールバーで、**[設定]** を選択して設定モードに入ります。
- システム概要** ペインで、必要な要素をビューアイテムにドラッグします。
- 要素に関する追加情報をすべて入力します。
- もう一度 **[設定]** を選択して設定モードを終了し、変更を保存します。

ビューの管理

ビューはライブモードと再生モードで使用でき、カメラやその他の種類のコンテンツを含めることができます。ビューにショートカット番号が割り当てられている場合は、キーボードのショートカットを使用してビューを選択できます。[24ページのキーボードショートカット（概要）](#) もご参照ください。

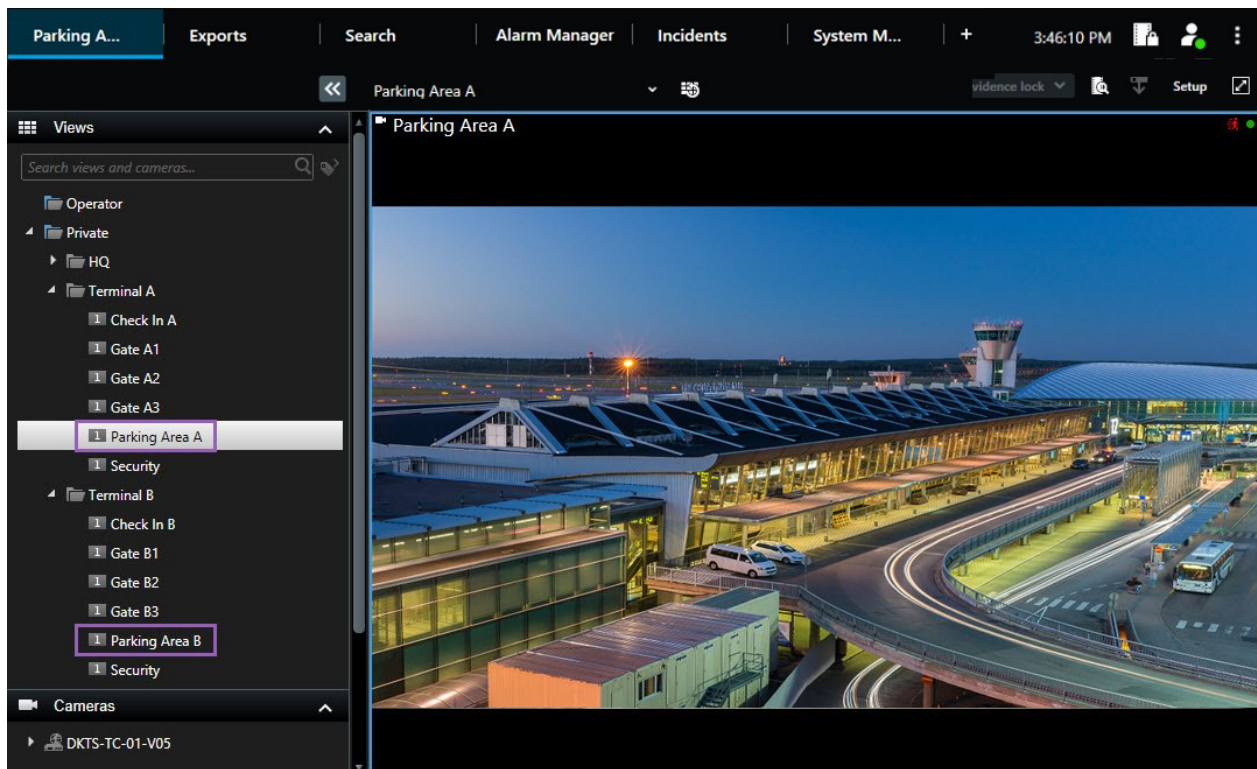
ビューとカメラの検索（説明付き）

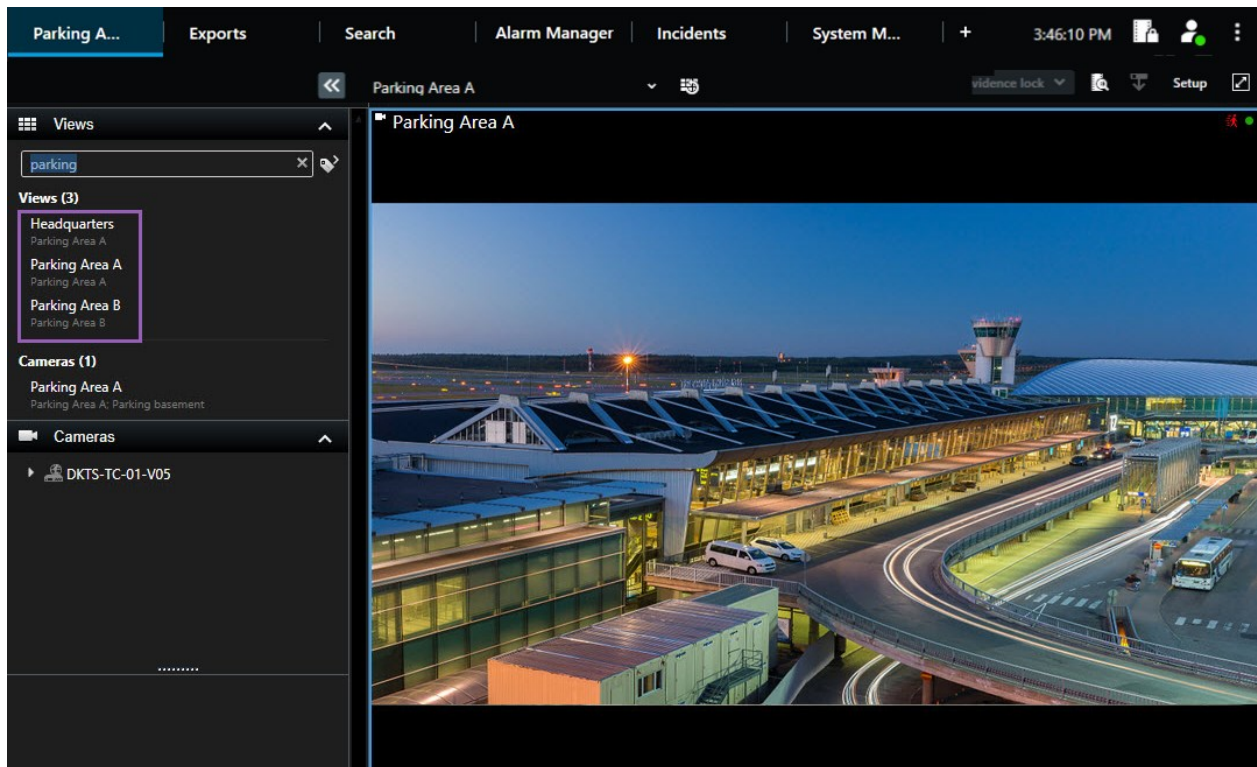
ビューグループが大規模または複雑な構造をしている場合、この検索機能によってナビゲーションが容易になるほか、複数の階層でビュー、カメラ（カメラの特徴を含む）（[14ページのカメラの特徴](#)も参照）、キーワードを検索


できます。検索フィールドの横にある  をクリックすると、共通キーワードの概要を検索できます。

例

以下の2つの画像は、ビューの階層と、「parking」を検索した場合の表示を示しています。





最上位のフォルダーの背景が赤くなっている場合 、これが保護されていることを意味します。保護されている第1階層フォルダでビューにアクセスすることはできますが、新しいビューを作成したり、既存のビューを編集することはできません。

検索語を入力すると、ビューとカメラの一致結果が表示されます。一致するカメラを1つ以上選択すると、選択したカメラの数に合わせて最適化された一時的なビューにカメラが表示されます。

1:1ビューで1台のカメラを表示するには、**カメラ**セクションで検索結果をクリックします。

ビューで最初の25台のカメラを表示するには、**ビュー**セクションで検索結果をクリックします。また、カメラをクリックしながら、**Ctrl**または**Shift**を押し、手動でカメラを選択することもできます。**Enter**を押して、カメラを表示します。

カメラの特徴

- 名前
- 説明
- 機能：

- PTZ
- 音声
- 入力
- 出力
- 特定のカメラを含んでいるビュー
- レコーディングサーバーの名前またはアドレス（接続されているカメラの表示）




システム管理者はXProtect VMSサーバーでカメラの説明フィールドに自由なテキスト タグを追加し、カメラをグループ化してタグの検索できるようにすることができます。例としては、説明フィールドに「アウトドア」というタグを使用するすべてのアウトドアカメラなどがあります。この場合は、このタイプのカメラをすべて見つけられます。

一時的に各カメラを変更

ビューのカメラは一時的に変更できます。ただし、この操作ではビューを恒久的に変更することはできません。ビューの内容を恒久的に変更するには、セットアップモードに入る必要があります。

要件

ビューアイテムにカメラが含まれている場合にのみ、カメラを変更できます。


1. ビューで適切なアイテムを選択します。
2. 以下のいずれか1つを実行します。
 - **カメラペイン**で、関連するカメラをビューの必要なビューアイテムへドラッグします。
 - カメラツールバーで、**詳細>ウィンドウに送信する>メインウィンドウ**をクリックし、ビューのビューアイテムを選択します。
3. 元のビューを復元するには、ワークスペースツールバーで  をクリックします。



カメラペインで、カメラのリストはサーバー別にグループ化されます。サーバーが赤いアイコンで表示されている場合は利用できません。この場合、そのサーバーからのカメラは選択できません。

カメラの切り替え

2つのカメラのビューを一時的に入れ替えることができます。そのビューアイテムにあるカメラは、交換するカメラの場所と入れ替わります。あるカメラと、他のカメラを切り替えることだけができます。これは、最も重要なカメラを互いに近くに置いておきたい場合などに便利かもしれません。

1. 関連するカメラのタイトルバーをクリックし、新しいビューアイテムにドラッグします。
2. 元のビューを復元するには、ワークスペースツールバーで  をクリックします。



ビューを恒久的に変更するには、まずセットアップモードに入る必要があります。

表示中のビューの間でビデオを送信する

開いているビューのカメラビューアイテムから別の開いているビューのカメラビューアイテムにビデオを送信できます。この機能は、サブウィンドウのオープンビューにも適用されます。



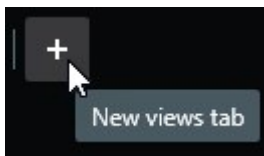
この機能は、ホットスポット、画面自動切替、またはMatrixコンテンツがあるビューアイテムでは使用できません。

1. カメラのツールバーで、**詳細>ウィンドウに送信**をクリックします。
2. 送信先ビューを選択し、そのカメラのビデオを表示したいビューアイテムをビューの中で選択します。ビューアイテムの一部が選択できない場合、それらは使用不能であるか、ホットスポット、画面自動切替、Matrixのコンテンツを使用している可能性があります。

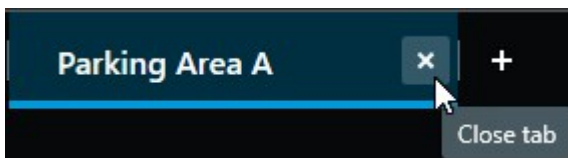
追加の表示タブを開き、再び閉じます

異なるビューを簡単に切り替えるために、メインウィンドウやサブウィンドウで好きなだけ表示タブを開くことができます。

1. デフォルトメニューから、**[新規表示]** タブを選択します。



2. ご覧になりたいビデオを含むビューを選択します。新しい表示タブの名前は、選択したビューの名前になります。
3. 追加ビュータブを再度閉じるには、**[タブを閉じる]** を選択します。





追加の表示タブの開閉にショートカットキーを割り当てることができます。**[設定とその他]**メニューから**[設定]**を選択し、**[キーボード]**タブを選択します。これで、**[選択したタブを閉じる]**と**[新しい表示タブを開く]**オプションにショートカットキーを割り当てることができます。



デフォルトメニューのメインタブを閉じることはできませんが、自分で開いた追加タブだけは閉じることができます。

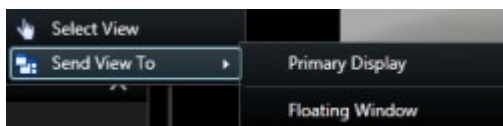
複数のビューで同時にビデオを見る

特定のディスプレイまたはフローティングウィンドウのいずれかのサブウィンドウにビューを送ることができます。これは例えば、複数のモニターがあり、同時に複数のビューからビデオを見たい場合に便利です。

サブウィンドウは希望する数だけ開くことができ、コンピュータに接続されているあらゆるモニターにドラッグすることもできます。



1. **[ビュー]**ペインで、サブウィンドウに送信したいビューを右クリックします。
2. **[ビューを送信]**を選択し、次にビューを送信したいサブウィンドウの種類を選択します。



18ページのサブウィンドウで作業するも参照



XProtect Smart Clientからログアウトすると、開いているすべてのウィンドウとタブの情報がローカルコンピュータに保存されます。XProtect Smart Clientにログインした後すぐに、ワークスペースを希望通りに配置するために、すべてのウィンドウとタブの復元を定義することができます。

サブウィンドウの時間をメインウィンドウと同期させます

サブウィンドウに送信したビューの時刻を、メインウィンドウに表示されているビューの時刻と同期させることができます。

1. サブウィンドウで、[メイン表示タブと時間を同期する]  を選択します。

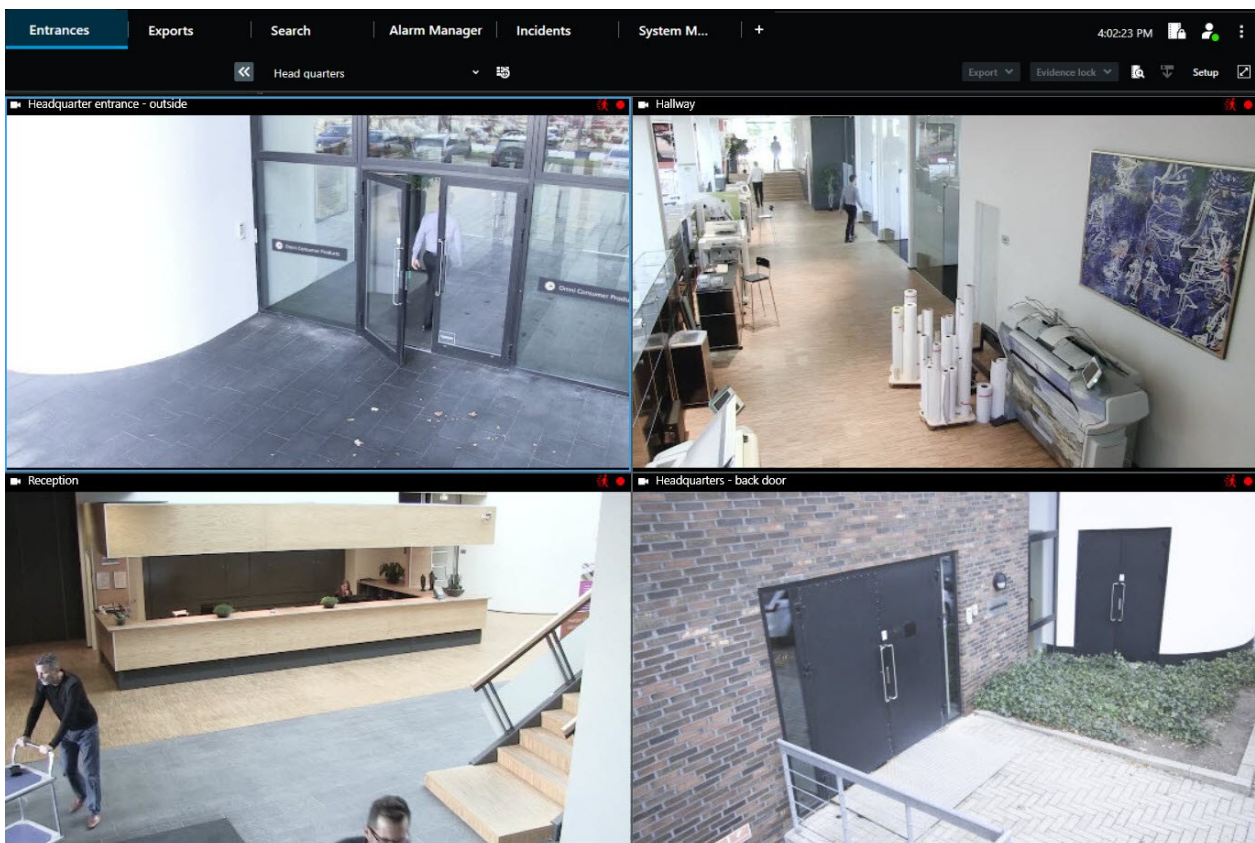
サブウィンドウが表示ウィンドウの場合は、まず[Esc]を押してタブとコントロールを表示させます。


2. メインタイムラインは、サブウィンドウの中に隠されています。
3. メインウィンドウから、メインタイムラインを使用して、メインウィンドウとサブウィンドウの両方でビデオをナビゲートします。

サブウィンドウで作業する

ディスプレイウィンドウとフローティングウィンドウの2つの異なるサブウィンドウにビューを送ることができます。

フローティングウィンドウは、すべてのタブとコントロールが表示された状態で、サブウィンドウにビューを表示します。



ディスプレイウィンドウは、選択したモニター上にフルスクリーンのサブウィンドウでビューを表示します。サブ表示ウィンドウは、他のすべてのXProtect Smart Clientウィンドウの上に表示されます。デフォルトでは、タブとコントロール（例：**メインビュータブと時間の同期** ）は非表示になっています。**[Esc]**を押すとタブとコントロールが表示されます。



カメラとビューのナビゲーション

XProtect Smart Clientでカメラ内、またはカメラ間をナビゲートする方法をいくつかご紹介します。

ホットスポット（説明付き）


ホットスポットでは、ビューの専用ビューアイテムで選択されたカメラから取得した質の高い拡大されたビデオを表示できます。ホットスポットは便利です。カメラでは、通常のビューのビューアイテムで低い画質やフレームレートを使用できますが、ホットスポットでは高い画質やフレームレートを利用できるためです。これによって、リモート接続の帯域幅を節減できます。

以下の2種類のホットスポットがあります。

- グローバルホットスポット。カメラがメインウィンドウかセカンダリディスプレイかに関係なく、選択されたカメラを表示します。
- ローカルホットスポット。ローカルディスプレイの選択されたカメラのみを表示します。


ビューの大きなビューアイテムのいずれかにホットスポットがあれば、効率的に活用できます（1+7ビューの大きなビューアイテムなど）。

ホットスポットの使用

- ビューでカメラをクリックすると、そのカメラのビデオフィールドでホットスポットのビューアイテムが更新されます
- タイトルバーにはホットスポットアイコンが表示されます。 

ライブビデオまたは録画ビデオを再生している場合、ホットスポット（またはビュー内にあるカメラのビューアイテム）をダブルクリックして最大化できます。この場合、選択している画質に関係なく、ホットスポットのビデオは最高の画質で表示されます。最大化した場合でも、選択している画質が適用されることを確認するには、**セットアップ**モードの**プロパティ**ペインで、**最大画面で画質を保持**を選択します。

画面自動切替（説明付き）

画面自動切替を使用すると、ビューの1つのビューアイテムで、複数のカメラからのビデオを次々に切り替えて表示できます。画面自動切替に含めるカメラと、カメラ間で切り替える間隔を指定できます。画面自動切替はツールバーの画面自動切替アイコンとして表示されます。 



魚眼レンズカメラは画面自動切替には含めることができません。

画面自動切替のビューアイテムをダブルクリックすると、画面自動切替を最大化できます。この場合、選択している画質の設定に関係なく、画面自動切替に含まれているカメラのビデオは、デフォルトで最高の画質で表示されます。この画面自動切替のデフォルト設定を上書きすることはできません。

カメラがサポートしている場合は、画面自動切替でデジタルズームとPTZコントロールを使用できます。表示されるPTZまたはデジタルズームコントロールを使用すると、画面自動切替が自動的に一時停止します。

画面自動切替を使用する


画面自動切替を含むビューがある場合は、このアイコンがカメラの名前の隣にあるタイトルバーに表示されます。



要件

- 画面自動切替は、使用する前に設定しておく必要があります。
- カメラタイトルバーのデフォルトが[設定]ウィンドウ内にて[表示する]に設定されている必要があります。

手順：

- ライブモードで、画面自動切替を含むビューを開きます。表示アイテムの上にカーソルを置くと、このツールバーが表示されます。
- 画面自動切替は自動的に起動します。一時停止するには、[一時停止]ボタンをクリックします。
- 画面自動切替で次のカメラ、または前のカメラに移動するには、**前のカメラ**または**次のカメラ**ボタンをクリックします。
- ツールバーで使用できる追加アクション：
 - カメラが配置されているスマートマップ上の場所に移動する
 - 現在フォーカスしているカメラを新しいウィンドウで検索する
 - スナップショットを作成する
 - クリップボードにコピーする



画面自動切替があるビューアイテムをダブルクリックすると、画面自動切替を最大化できます。選択している画質の設定に関係なく、画面自動切替に含まれているカメラのビデオは、デフォルトで最高の画質で表示されます。

デジタルズーム（説明付き）

デジタルズームを使って画像の一部だけを拡大表示できるため、その部分を詳しく見ることができます。これはライブモードと再生モードの両方で作動します。

デジタルズームは、独自のオプティカルズーム能力のないカメラで有用な機能です。デジタルズームを使用しても、ビデオの録画には影響しません。カメラの通常の形式で録画は続きます。



PTZではないカメラでは、デジタルズームはデフォルトで有効になっています。1台のカメラでデジタルズームを有効または無効にすると、ビューにあるすべてのカメラに影響します。PTZカメラでは、この設定は一度に1台のカメラにだけ適用されます。

ビデオデータをエクスポートする場合、AVIまたはJPEG形式で標準画像またはデジタルズームした画像のどちらをエクスポートするかを選択できます。受信者はエクスポートされた録画上でデジタルズームを使用できるため、XProtect形式でエクスポートする場合、これは利用できません。デジタルズームを使用した画像を印刷する場合は、その画像のデジタルズームされた部分が印刷されます。

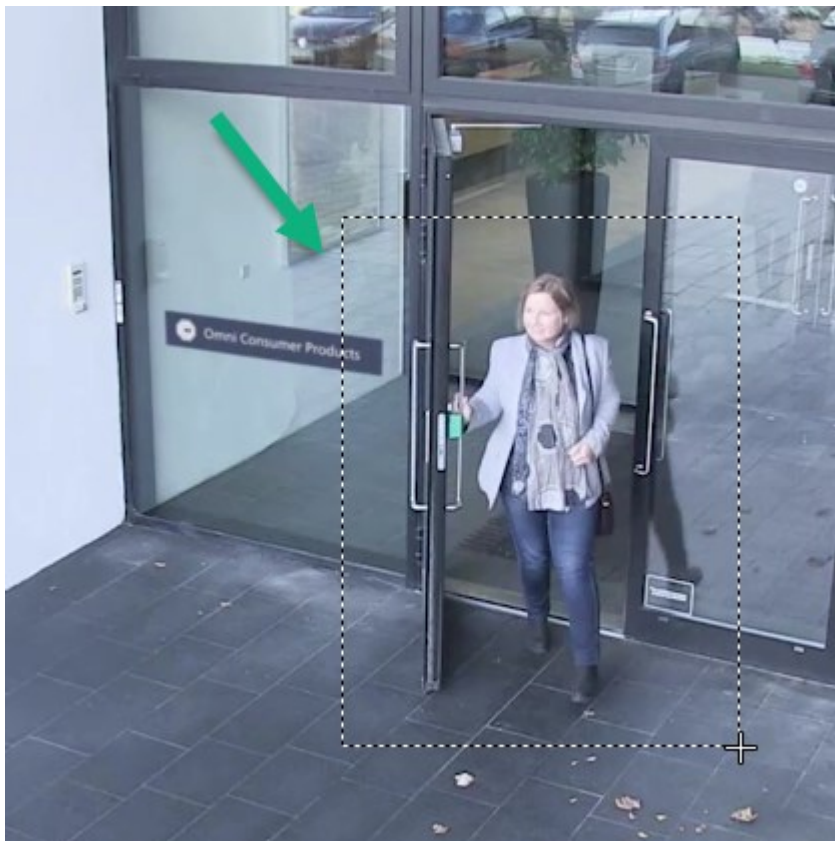
デジタルズームの使用

要件

デジタルズームを有効にするには、カメラのツールバーで**その他**をクリックし、**デジタルズーム**を選択します。

手順：

1. 画像の内部をクリックしてドラッグするとズームできます。選択したエリアは、点線で強調表示されます。マウスボタンを離すと、ズームが適用されます。



2. ズームレベルを維持したままその画像の他のエリアへ移動する場合は、全体図フレーム内で、強調表示されているエリアをドラッグして必要な位置へ移動させてください。



3. ズームレベルを調整するには、画像をクリックし、マウスのスクロールホイールを使用してください。
4. 仮想ジョイスティック内の**ホーム**アイコンをクリックし、通常のズームレベルに戻ります。



仮想ジョイスティックおよびPTZオーバーレイボタン（説明付き）

ビューに魚眼カメラや魚眼レンズ、またはPTZデバイスが含まれている場合は、仮想ジョイスティックまたは画像内部に表示されるPTZナビゲーションボタンを使用すると画像をナビゲートできます。

仮想ジョイスティック:





マウスをビューへ移動させた時にカメラのツールバーをポップアップ表示させたくない場合は、**CTRL**キーを押したまま、マウスを動かします。

ビューとショートカット（説明付き）

ビューに番号が割り当てられている場合は、キーボードのショートカットを使用してビューを選択できます。設定モードでビューに番号を割り当てます。



数字キーパッドの使用時のみ、キーボードのショートカットを使用してビューを選択できます。

例

特定のビューに「1」を割り当てた場合は、*** + 1 + Enter**を押してビューを選択します。

キーボードショートカット（概要）

ライブおよび再生モードを使用する際に、多数のキーボードショートカットを使用するとビュー内およびビュー間をナビゲートできます。



こうしたショートカットは、Matrixコンテンツや静止画像が含まれるビューアイテムでは使用できません。

XProtect Smart Clientでは、特定のアクションに独自のカスタムショートカットキーの組み合わせを割り当てることもできます。

押すキー	実行される操作
Enter	ビューで選択したビューアイテムの最大化された表示と通常の表示を切り替えます。
Alt	ビュー内で特定の表示アイテムを選択します。まず、 Alt を押します。開いているウィンドウごとに番号が表示されます。たとえば、2番目のウィンドウで表示アイテムを選択したい場合は、 2 を押します。次に(2番目のウィンドウで表示できる表示アイテムごとに)複数の番号が表示されます。選択したいビューアイテムの番号を押します(たとえば、 4)。該当するビューアイテムに選択され、青い

押す キー	実行される操作
	<p>フレームでマークされます。</p> <p>PTZカメラまたはホットスポットを使用している場合は、ジョイスティックでカメラをコントロールしたり、マウスを使わなくても表示アイテムを直接、ホットスポットに送ったりできるようになります。</p>
<p>/+<カ メラの ショー トカッ ト番号 > + Enter</p>	<p>選択された表示アイテムに表示されているカメラを、押したショートカット番号のカメラと置き換えます。例: 表示したいカメラのショートカット番号が6の場合は、/+ 6+Enterを押します。</p> <p>XProtect VMSシステムではカメラのショートカット番号を使用しない場合もあります。これはサーバーで定義されます。</p>
<p>/ + Enter</p>	<p>選択された表示アイテムに表示されているカメラを、デフォルトのカメラと置き換えます。</p>
<p>/ + / + Enter</p>	<p>すべての表示アイテムに表示されているカメラを、デフォルトのカメラと置き換えます。</p>
<p>*+< ビュー の ショー トカッ ト番号 > + Enter</p>	<p>選択されたビューを、ショートカット番号が一致するビューに変更します。例: 表示したいビューのショートカット番号が8の場合は、*+ 8+Enterを押します。</p> <p>ビューのショートカット番号を使用している場合は、ビューペインのビュー名の前に括弧に入れて表示されます。</p>
<p>6（数）</p>	<p>ビューアイテムの選択を1つ右へ移動させます。</p>

押す キー	実行される操作
字キー パッド のみ)	
4 (数 字キー パッド のみ)	ビューアイテムの選択を1つ左へ移動させます。
8 (数 字キー パッド のみ)	ビューアイテムの選択を1つ上へ移動させます。
2 (数 字キー パッド のみ)	ビューアイテムの選択を1つ下へ移動させます。

ライブビデオを閲覧する

ライブビデオは、主にライブモードで表示されます。ライブビデオを表示するには、興味のあるカメラからのビデオが表示されているビューを見つけなくてはなりません。ビュータブを選択し、**ビュー**ペインから関連するビューを選択します。ビューに表示されるカメラごとに異なるアクションを実行できます（スナップショットを撮る、手動で録画を開始するなど）。[29ページのカメラツールバー（概要）](#) もご参照ください。何か目に留まるものがあれば、仮想ジョイスティックでズームインして、より詳しく見ることができます。

ライブビデオ（説明付き）

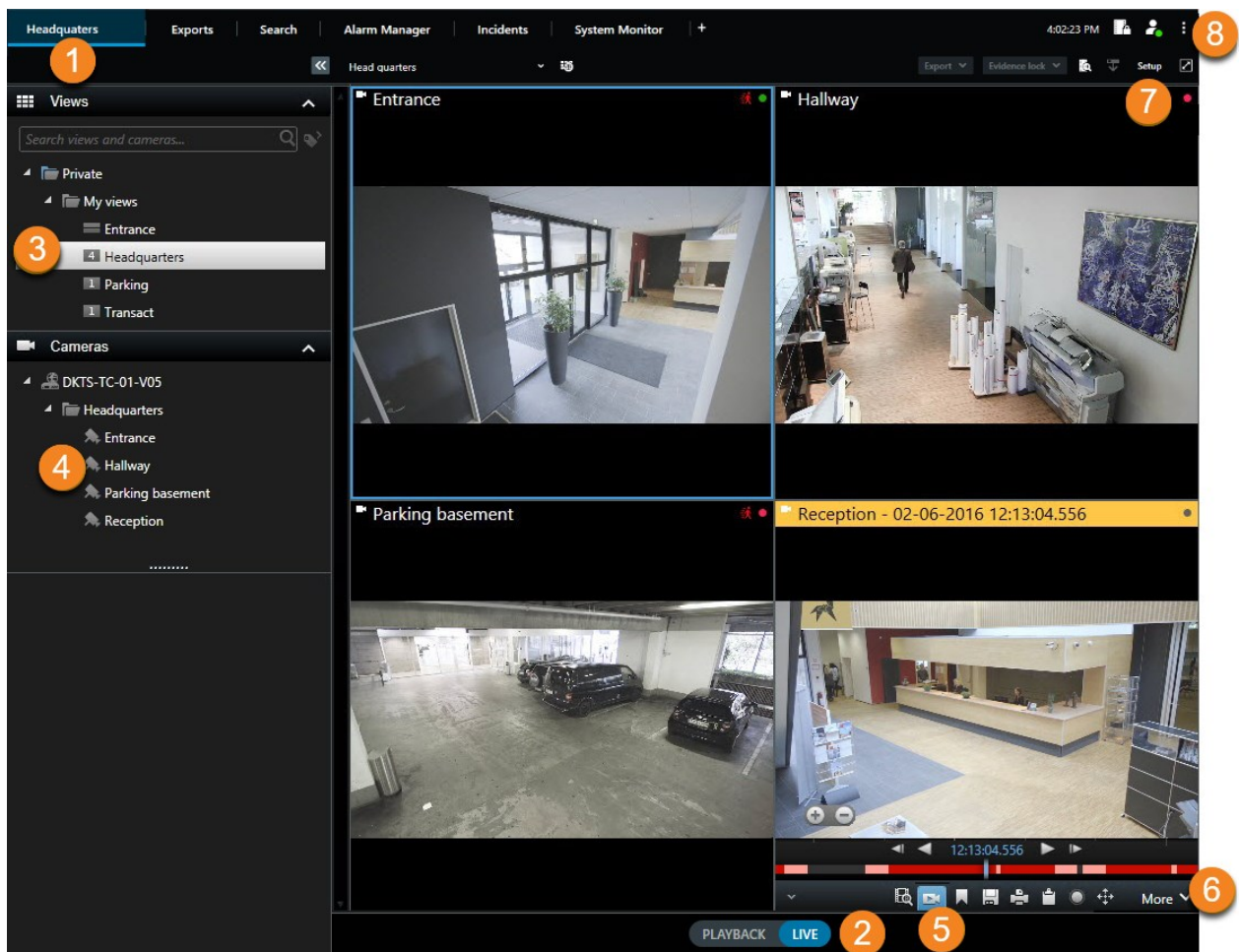
カメラからのビデオストリームは、必ずしも録画されているとは限りません。通常、録画は例えば、毎朝10:00～11:30というように、スケジュールにのっとり行われます。サーバーで複数のXProtectストリームが設定されている場合、カメラツールバーから選択すると、一時的に別のストリームを表示できます。



サーバーで複数のストリームが設定されている場合、カメラツールバーから選択すると、一時的に別のストリームを表示できます。録画されたインシデントを調査するには、再生**モード**に移動します。

録画されたインシデントを調査するには、再生モードに移動します。詳細検索を実行するには、**[検索]** タブに移動します。

ライブモード（概要）

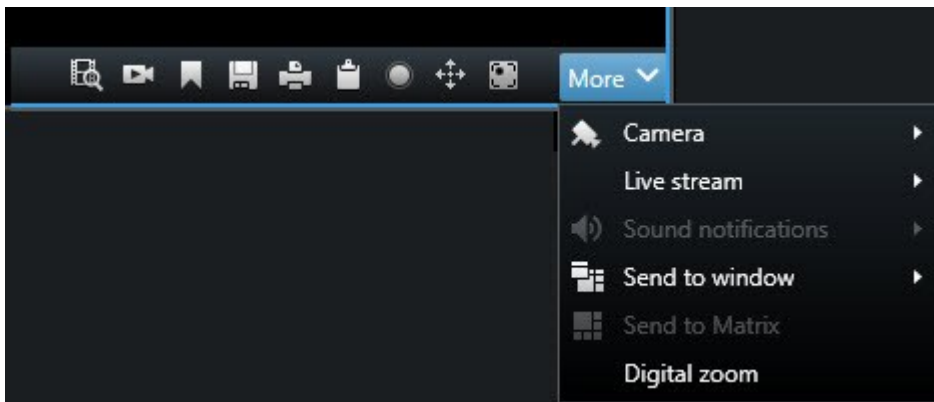


番号	説明
1	メイン表示タブ。
2	ライブモードに切り替えます。
3	ビューを選択します。

番号	説明
4	ビューで一時的にカメラを変更します。 15ページの一時的に各カメラを変更 もご参照ください。
5	個々のカメラの録画ビデオを表示します。 38ページの録画したビデオをメインのタイムラインとは別に表示 もご参照ください。
6	カメラ ツールバー。 29ページのカメラツールバー（概要） もご参照ください。
7	カメラとその他のコンテンツタイプをビューに追加するには、設定モードに入るか、終了します。
8	ボタン。

カメラツールバー（概要）

カーソルをビュー内のカメラの上に動かすと、カメラツールバーが表示されます。カメラツールバーは、ライブと再生モードの両方で利用できます。




アイコン/ メニュー	説明
	選択されているカメラで新しい検索ウィンドウを開きます。 62ページのカメラまたはビューから検索を実行 もご参照ください。
	録画したビデオをメインタイムラインとは別に表示します。 38ページの録画したビデオをメインのタイムラインとは別に表示 もご参照ください。
	ビデオにブックマークを付けます。
	表示されている内容のスナップショットを保存します。 33ページのスナップショットを保存 もご参照ください。
	単一のカメラから監視レポートを印刷します。 87ページの単一カメラからレポートを印刷 もご参照ください。
	単一の画像をクリップボードにコピーします。 89ページの画像をクリップボードにコピー もご参照ください。
	単一のカメラから手動でビデオを録画します。 32ページのビデオの手動録画 もご参照ください。
	魚眼カメラやPTZカメラのプリセット位置で動作します。
デジタル ズーム	デジタルズームを有効にします。 22ページのデジタルズームの使用 もご参照ください。
ウィンドウ に送信	一時的に表示アイテムでカメラを変更します。 15ページの一時的に各カメラを変更 もご参照ください。
カメラ	カメラを選択する。

カメラツールバーを非表示にする

表示アイテムのカメラツールバーをユーザーが最少化した場合、ツールバーは、現在のセッション内でこのユーザーにのみ最少化されたままになります。ただし、表示アイテムへアクセスできるすべてのユーザーに対して、特定の表示アイテムを完全に非表示にすることもできます。

手順：

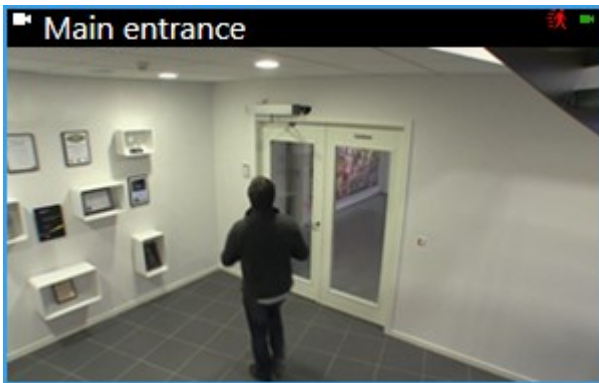
1. **[設定]** をクリックして設定モードに移ります。
2. ツールバーを非表示にしたい表示アイテムを探します。
3. ツールバーを非表示にするには  をクリックします。
4. もう一度 **[設定]** を選択して設定モードを終了し、変更を保存します。









設定モードで行った設定はサーバーに保存されるので、変更は他のXProtect Smart Clientオペレータにも影響します。

カメラインジケータ（説明付き）

カメラインジケータは、カメラ表示アイテムに表示中のビデオのステータスを示します。カメラインジケータは、**設定**ウィンドウの**アプリケーション**タブのカメラのタイトルバーが有効になっている場合にのみ表示されます。



カメラのタイトルバーは、個々の表示アイテムでオンまたはオフにできます。**設定**をクリックし、**プロパティ**ペインで**タイトルバーを表示する**チェックボックスを選択します。

インジケータ	説明
	モーションが感知されました。画像の内側をクリックすると、モーションインジケータがリセットされます。
	カメラとサーバーの接続が切断されました。
	カメラからビデオを録画中です。
	カメラへの接続が確立されました。このアイコンはライブビデオ専用です。
	録画された動画を再生中です。
	サーバーから2秒間以上新しい画像を受信していません。





カメラプロパティでは、モーションが検出された際の音による通知を加えることができます。


ビデオの手動録画

ライブビデオを見ながらの録画は、何かを発見した場合に便利です。

手順：

録画したい表示アイテムのカメラ ツールバーで、以下のオプションのいずれかを選択します。

-  あらかじめ決めた分数で録画開始
録画開始後、システム管理者の定めた分数、録画が続きます。ユーザーが分数を変更したり、指定の分数が経過する前に録画を停止することはできません。
-  手動録画を開始

録画開始後、システム管理者の定めた分数、録画が続きます。または、 アイコンを再度クリックする

と、手動録画を停止できます。



複数のカメラで同時にビデオストリームの録画を開始できますが、ひとつひとつ選択する必要があります。



スナップショットを保存

ライブビデオまたは録画ビデオを再生しながら、またはビデオを検索しながら、その場でスナップショットを撮って共有することができます。静止画像が保存されているフォルダーへのパスは、**設定**ウィンドウ下の**アプリケーション**で指定します。

要件

アプリケーションの**設定**ウィンドウで、必ず**スナップショット**を**利用可**に設定すること。

手順：

1. ライブモードまたは再生モードで、以下を実行します。
 1. カメラ、ホットスポット、画面自動切替を含むビューアイテムの上にカーソルを合わせます。
 2. カメラツールバーで、をクリックします。アイコンがすぐに緑色になります。
2. **検索**タブを表示している場合は、検索結果をダブルクリックして、カメラツールバーのをクリックします。アイコンがすぐに緑色になります。
3. スナップショットにアクセスするには、スナップショットが保存されているファイルの場所に移動します。



画像にプライバシーマスクが含まれる場合は、そのプライバシーマスクもスナップショット画像に適用されます。

インシデントの調査

タイムラインを使用して録画済みビデオを閲覧し、主に再生モードでインシデントを調査します。録画ビデオを表示するには、興味のあるカメラからのビデオが表示されているビューを見つけなくてはなりません。ビューは、**ビュー** ペインで利用できます。ビューに表示されるカメラごとに異なるアクションを実行できます（スナップショットを撮る、検索を開始するなど）。[29ページのカメラツールバー（概要）](#) もご参照ください。何か目に留まるものがある場合は、仮想ジョイスティックでズームインして、より詳しく見ることができます。

検索 タブで詳細な検索を行い、さらなる調査やアクション（エクスポートやブックマークなど）の起点として検索結果を使用できます。

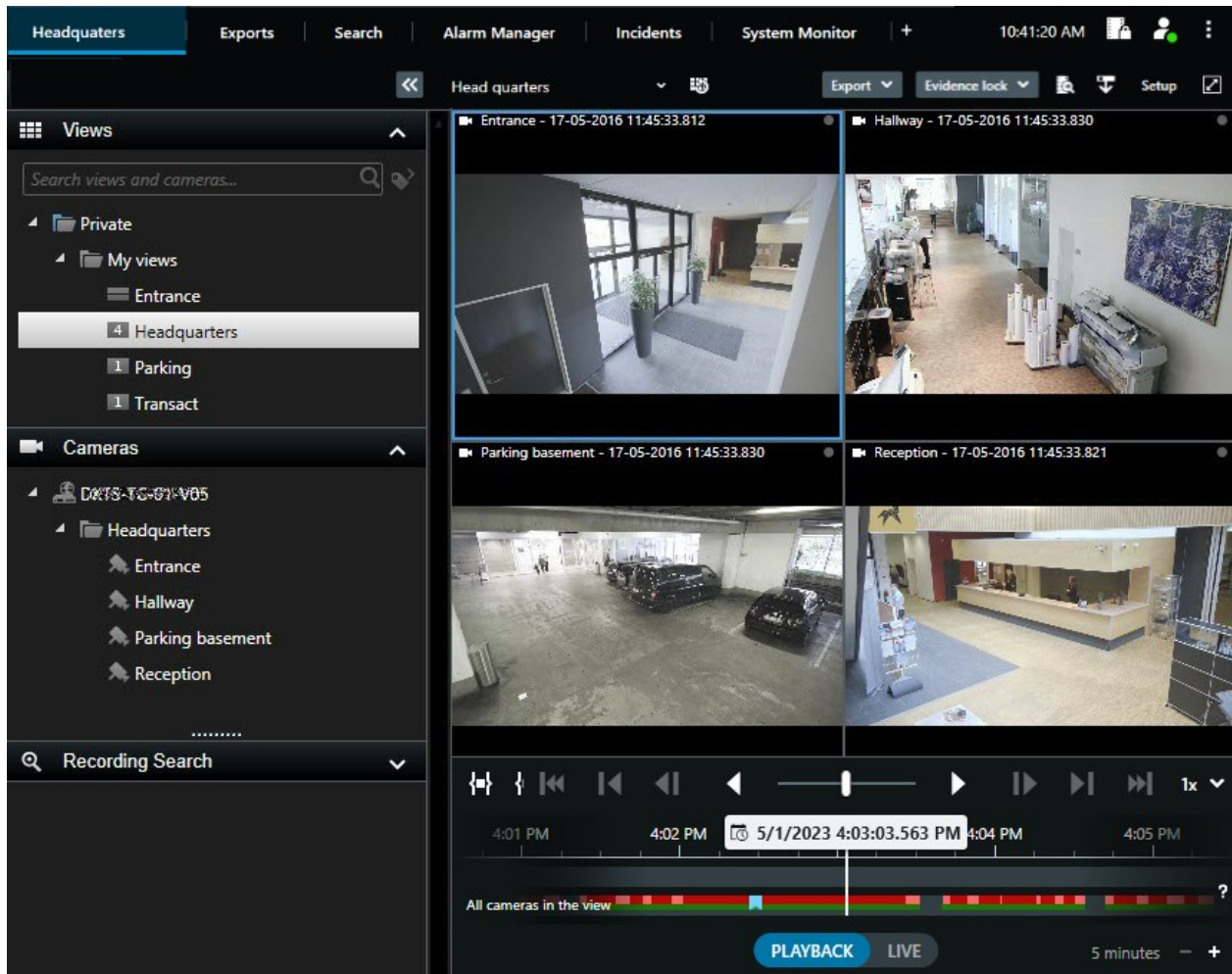
インシデントがアラームと関連付けられている場合は、**アラームマネージャ** タブを選択するか、**アラームリスト** が追加されたビューを選択します。

に[インシデント XProtect Smart Client] タブがある場合は、XProtect® Incident Manager があります。XProtect Incident Manager XProtect Incident Manager がない、または内蔵 XProtect Smart Client 機能でインシデントを調査する場合は、このセクションで説明している機能と方法を使用してください。

録画されたビデオを見る（説明付き）

録画ビデオの表示方法は種々あります。

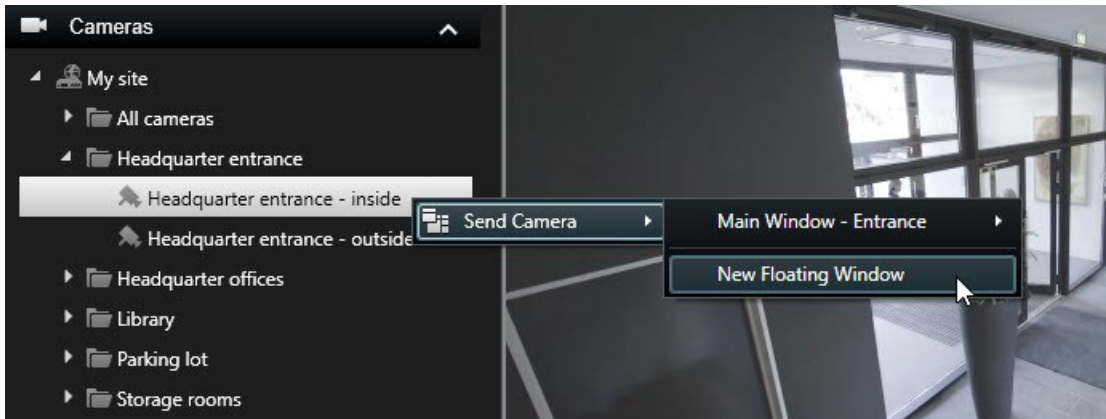
再生モード




再生モードでは、ビューにあるすべてのカメラにメインのタイムラインで表示される同時刻のレコーディングが表示されます。メインのタイムラインのコントロールと機能を使用して、レコーディングを再生、閲覧できます。

ただし、メインタイムラインの時間に関係なく、個々のカメラからレコーディングを表示して操作することもできます。**独立再生**が機能設定で有効になっていないことはありません。

カメラペインのツリーを用いてカメラにアクセスした場合、再生モードで個々のカメラを新しいウィンドウで開くことができます。



ライブモード

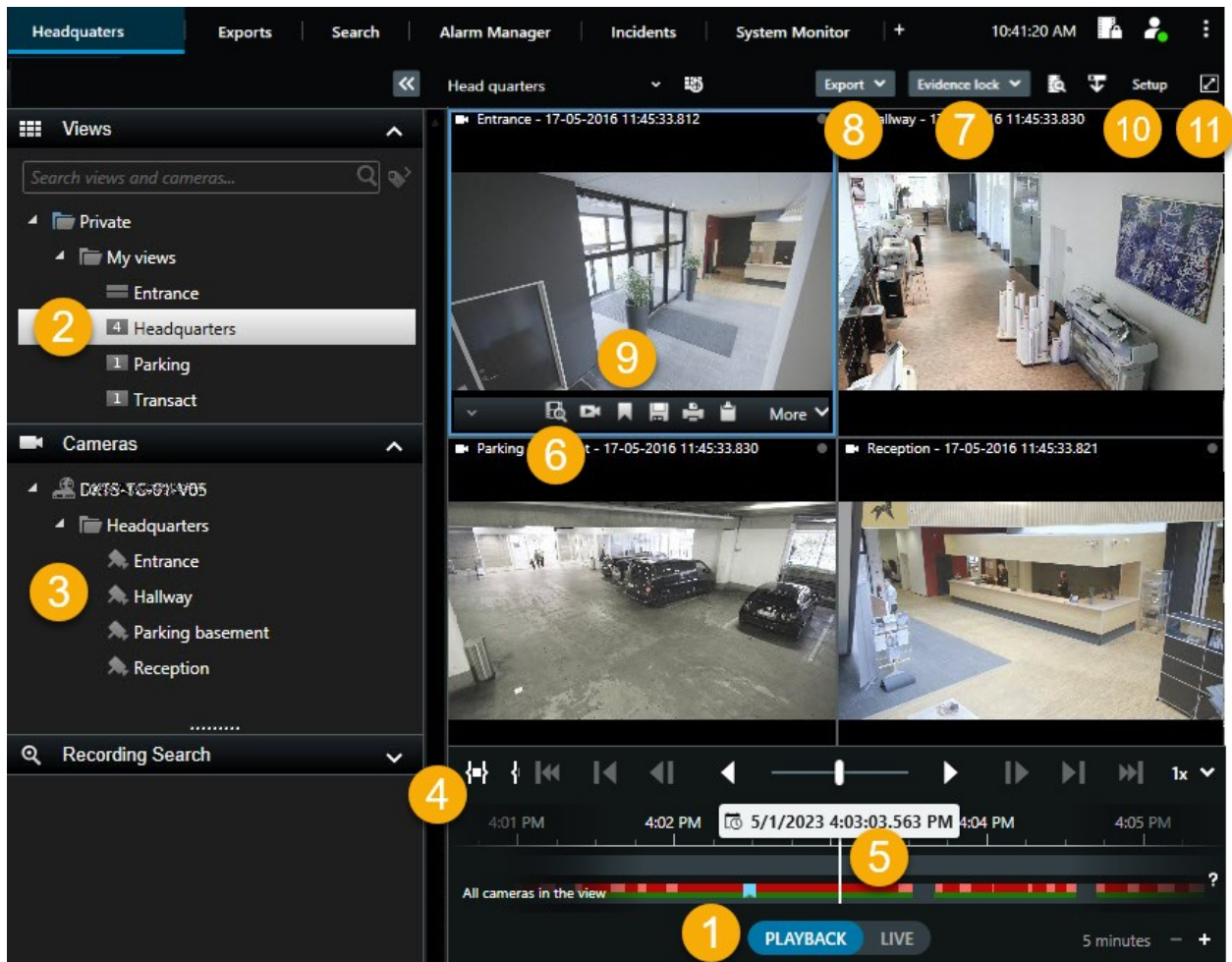
ライブモードでは、カメラ ツールバーで  ボタンをクリックすると、個々のカメラの録画ビデオを閲覧できます。新しいウィンドウが開き、録画を再生したり参照したりできます。**カメラ再生**が有効でなくてはなりません。

検索タブ

検索結果は基本的に、再生可能なビデオ シーケンスです。

- 検索結果をプレビューします。[63ページの検索結果からビデオをプレビュー](#)も参照
- 全画面モード、またはサブウィンドウで検索結果を再生します。[63ページのサブウィンドウで検索結果を開く](#)も参照

再生モード（概要）



番号	説明
1	再生モードで録画したビデオを表示する
2	ツリー構造でビューを選択するか、キーボードのショートカットを使用します。 24ページのキーボードショートカット（概要） もご参照ください。
3	一時的に個々のカメラを変更します。 15ページの一時的に各カメラを変更 もご参照ください。

番号	説明
4	ビデオをエクスポートするタイムスパンを選択します。
5	メインのタイムラインを使用して閲覧します。
6	事前に選択されたカメラを使い、新しい検索ウィンドウを開きます。 62ページのカメラまたはビューから検索を実行 もご参照ください。
7	エビデンスロックを作成します。
8	ビデオデータをエクスポートします。 80ページのビデオ、音声、静止画像のエクスポート もご参照ください。
9	カメラ ツールバーでさまざまなアクションを行います。 29ページのカメラツールバー（概要） もご参照ください。
10	カメラとその他のコンテンツタイプをビューに追加するには、設定モードに入るか、終了します。
11	全画面表示モードに切り替えます。

録画したビデオをメインのタイムラインとは別に表示

個々のカメラは、タイムラインとは独立してビデオを再生できます。再生モードでは、再生は選択したメインのタイムラインとは無関係です。ライブモードでは、再生はライブビデオとは無関係です。




この機能は、1台のカメラで通常のビューアイテムにのみ使用できます。ホットスポット、画面自動切替、またはMatrixコンテンツのあるビューアイテムには利用できません。

要件

設定ウィンドウ>機能タブで、**個別再生オプション**を利用可能にしてください。


手順：

- 録画したビデオを個別に再生するカメラの下部に、マウスのカーソルをもっていきます。表示されるツールバーで、 **個別再生**を選択します。

カメラのビューアイテムのトップバーが黄色に変わり、個別再生タイムラインが表示されます。



ライブモードでは、個別再生ボタンを選択する10秒前からビデオの再生が始まります。再生モードでは、ビデオが再生されているか一時停止されているかによって異なります。再生中の場合、個別再生はメインのタイムラインの現在時間から、現在の再生方向とは反対の方向に10秒ジャンプしてビデオを再生します。再生モードの時にビデオを一時停止した状態で個別再生を選択すると、ビデオはメインのタイムライン上の現在時刻で一時停止したままとなります。

- 任意の操作。個別再生タイムラインをドラッグし、別の時間に録画したビデオを確認します。
- 任意の操作。ビュー内のすべてのカメラの録画ビデオを個別再生によるビューアイテムで同じ時刻から表示するには、**再生タイムライン上で選択した時刻を使用する**ボタンをクリックします。.

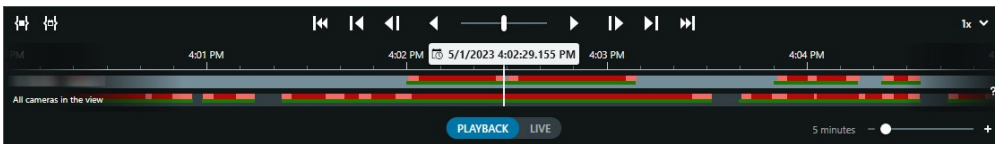
この操作により、すべてのカメラが再生モードで、個別再生用に最初に選択した時刻に同期化されて表示されます。

検索結果の調査

[検索]タブで見つかったインシデントを調査する方法はいくつかあります。

- サブウィンドウで、検索結果を再生モードで開きます。[63ページのサブウィンドウで検索結果を開く](#)も参照
- 詳細ビューで検索結果を開きます。以下のいずれか1つを実行します。
 - 検索結果リストで検索結果をダブルクリックすると、全画面モードで表示できます。再びダブルクリックすると、検索結果のリストに戻ります。
 - プレビューエリアで検索結果をプレビューする場合は、ビデオ画像の内側をダブルクリックします。検索結果が全画面モードで開きます。再度ダブルクリックすると、プレビューエリアに戻ります。

メインタイムライン



メインタイムラインには、現在のビューにあるカメラとその他のデバイスからの録画期間の概要が表示されます。メインタイムラインは表示タブから利用可能です。調査中に録画を操作したり、エクスポートする録画シーケンス、エビデンスロックによる保護、ブックマークの追加などを選択するために使用できるさまざまなコントロールがあります。

ビュー タブを選択し、再生モードに切り替えると、すべてのタイムライン コントロールが表示されます。

タイムラインの見え方や挙動は調整できます。タイムライン追跡で、どの録画タイプやその他の要素を表示するかを選択します。例えば、録音音声とブックマークを表示したい場合、録画間のギャップをどのように再生するかも選択できます。また、非アクティブ時にメインタイムラインを非表示にすると、XProtect Smart Client でビデオを閲覧するためにディスプレイの大部分を解放できます。

タイムライン追跡




- 上部のタイムライン追跡には、選択したカメラの録画期間が表示されます。
- 下部のタイムライン追跡には、選択したカメラを含む、ビューにあるすべてのカメラが表示されます。

メインウィンドウと時間的に同期しているサブウィンドウがある場合、これらのウィンドウ内のカメラやデバイスからの録画も下のタイムライン追跡に表示されます。

色の凡例


タイムライン追跡では、異なるタイプの録画は異なる色で表示されます。知っておくべき最も重要な色は、以下の通りです。

- 明るい赤は録画を示します
- 赤はモーション付きの録画を示します
- ライトグリーンは発信音声付きの録画を示します
- グリーンは受信音声を示します

現在表示されているタイムライン追跡のすべての色の凡例を表示するには、タイムライン追跡の右側にある小さなクエスチョンマーク  を選択します。



ブックマーク

タイムライン追跡では、ブックマークは青いブックマークアイコン  で表示されます。ブックマークされたビデオを再生するには、マウスをアイコンの上に置きます。

追加マーカー

XProtect VMS システムで追加のデータソースを利用できる場合、これらのソースからのインシデントはマーカーとして青以外の色で表示されます。インシデントはタイムライン追跡のポップアップとして開きます。



縦線

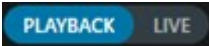
縦線は、録画が現在再生されている位置から見た再生ヘッドの位置を示します。これはメイン再生時間と呼ばれます。上のテキストは現在再生されているビデオの正確な日時を示しています。メイン再生時間は、一部のカメラからの個別の再生を表示している場合以外は、ビュー内のすべてのカメラおよび同期されているビューに適用されます。メイン再生時間に一致するビューに1台以上のカメラの録画ビデオがない場合、メイン再生時間前のカメラデータベースからの最後のフレームが表示されますが、フレームはグレースアウトします。

タイムラインからの録画の操作








メインタイムラインのコントロールを使用して、さまざまな方法で録画内を前後に移動できます。タイムライン追跡は左右どちらにでもドラッグできます。ドラッグしながら Ctrl キーを押すと、動きがゆっくりになります。



タイムライン コントロールを利用できます。マウスのスクロールホイールが再生ヘッドの上にある日付を選択すると、録画内の別の時間に移動できます。

タイムライン コントロール

コントロール	説明
	再生モードまたはライブモードに切り

コントロール	説明
	替えます。
	<p>ビデオ内を異なる速度で前後に移動します。横にコントロールをドラッグするにつれて、再生速度は速くなります。</p>
	<p>時間内で逆再生  または順再生  します。再生ボタンの1つを選択すると、ボタンは一時</p>

コントロール	説明
	停止ボタン  に変わります。
	現在表示されているフレームのすぐ前  または後  のフレームに移動します。
	前のシーケンス  の開始、または次のシーケンス  へ移動

コントロール	説明
	<p>します。</p>
	<p>データベース内の最初のシーケンス  または最後のシーケンス  へ移動します。</p>
	<p>エクスポート、エビデンスロックスの作成またはその他の操作のために録画期間を選択する方法は、2通りあります。</p>

コントロール	説明
	<p>す。</p> <p>タイムラインで開始/終了時間を選択</p> <p> :</p> <p>選択すると、タイムラインとビューが選択モードに切り替わります。どのビューアイテムを含めるかを選択し、タイムライン追跡上の時間選択ブラケットをドラッグして、選択し</p>

コントロール	説明
	<p>たいビデオシーケンスの開始時間と終了時間を変更します。</p> <p>カレンダーで開始/終了時間を選択</p> <p> : 選択して、カレンダーから開始日時と終了日時を指定します。タイムライン追跡は選択した開始時間にジャンプし、選択済みの期</p>

コントロール	説明
	<p>間は時間選択ブラケットで囲まれます。</p>
	<p>再生スピードを変更します。</p>
	<p>タイムライン追跡のタイムスパンを指定します。または、Ctrl + マウスのスクロールも使用できます。</p>

ビデオデータの検索

検索機能は主に**検索**タブで使用できますが、これらはライブおよび再生モードでのビデオ表示に組み込まれていません。

ビデオの検索

検索タブでは、ビデオ録画とメタデータを検索できるほか、検索結果に基づいて（エクスポートなどによる）アクションも実行できます。

何を検索できるでしょう？

- ビデオシーケンス
- モーションのあるビデオシーケンス
- ブックマーク付きビデオ
- アラームが発生したビデオシーケンス
- イベントが発生したビデオシーケンス
- 人物が写っているビデオシーケンス
- 車両が写っているビデオシーケンス
- 特定の場所で録画されたビデオ

要件

- 人物、車両、ロケーションに基づいた検索は、これらの検索カテゴリがシステム管理者によって有効にされている場合にしか使用できません
- 車両の検索は、システムにXProtect® LPRがインストールされている場合でも可能です。詳細については、システム管理者にお問い合わせください

検索カテゴリ**アラーム、イベント、人物、車両、ロケーション**は、次の製品のいずれかを使用している場合のみ利用できます。

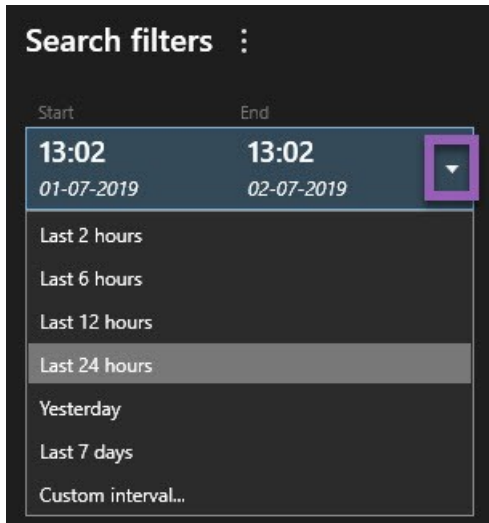


- XProtect Corporate
- XProtect Expert

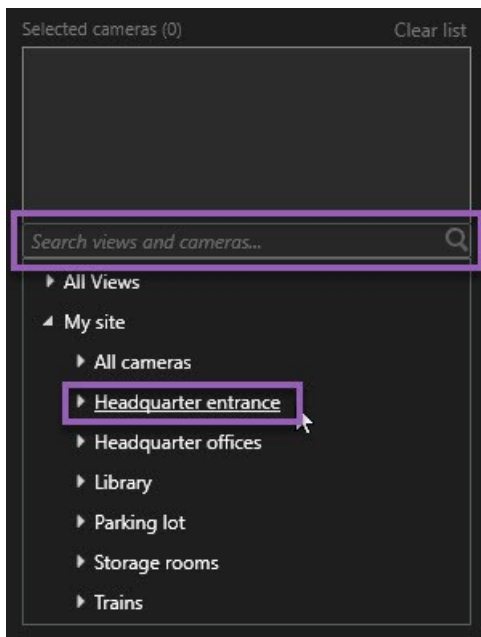
上記の製品のいずれかを使用している場合のみ、検索カテゴリを組み合わせることができます。

手順：

1. 矢印をクリックするか、事前定義されたタイムスパンを選択して、独自の**カスタムインターバル**を定義します。



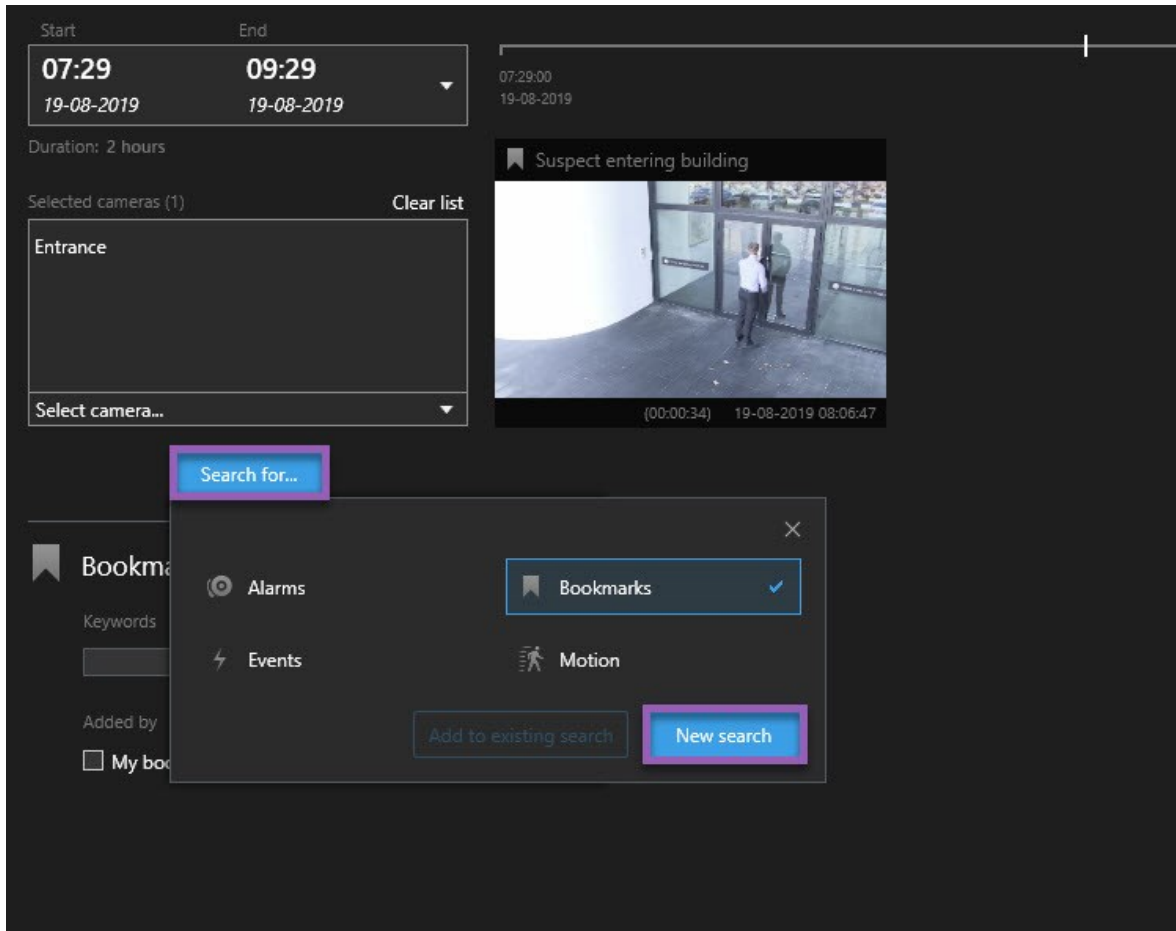
2. **選択したカメラリスト**で、以下のいずれかを実行してカメラを検索対象に追加します。



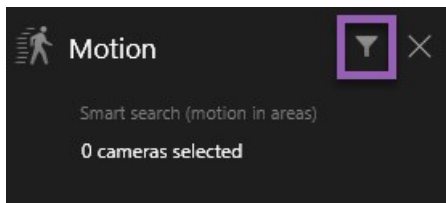
- 検索機能を使用してカメラまたはビューを探します。
- ツリー構造内のカメラを手動で選択します。ビュー内のすべてのカメラを追加するには、ビューの名前を選択します。


カメラを追加すると検索が即座に実行されます。

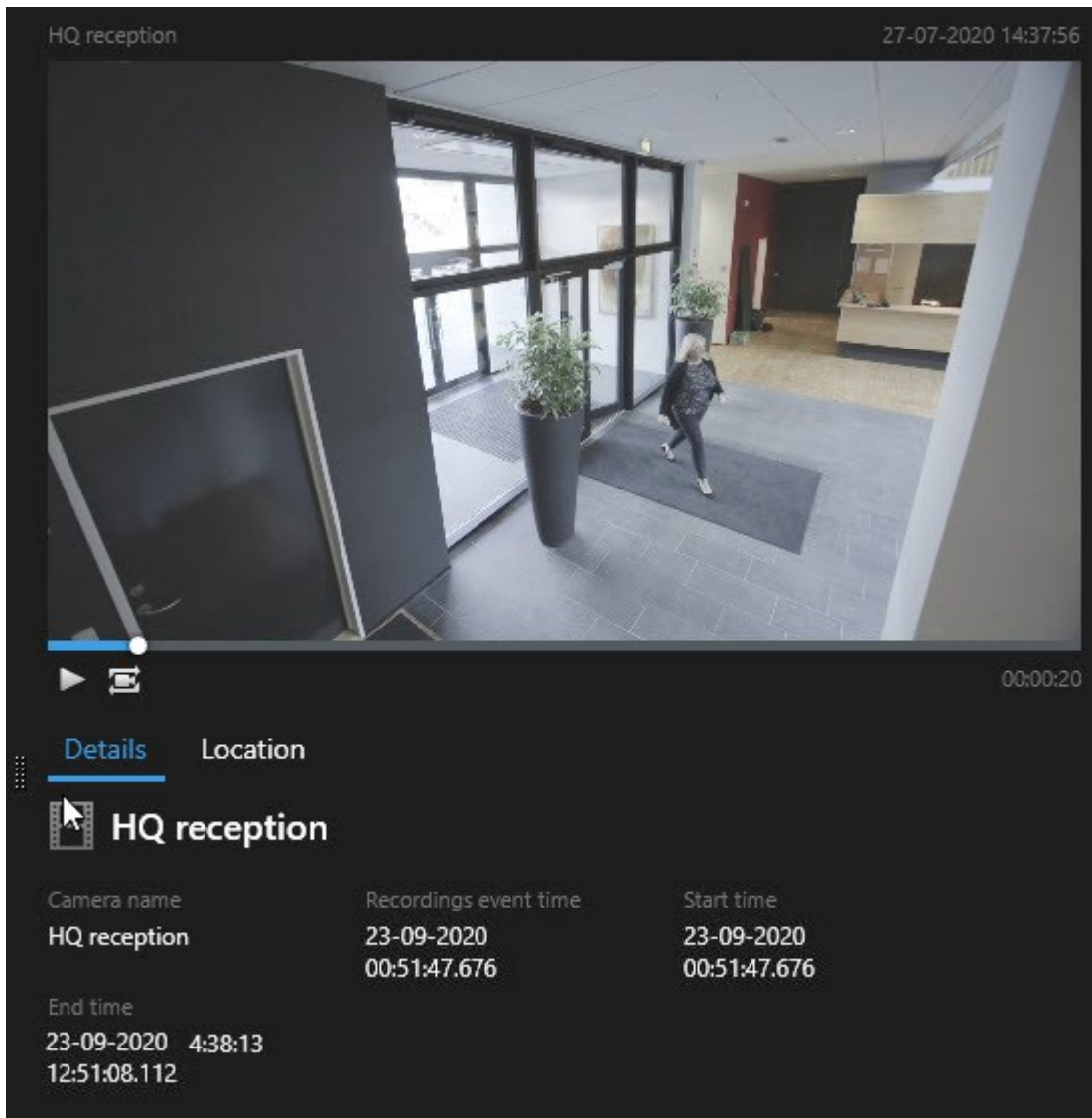
3. **検索対象**をクリックして検索カテゴリを選択します。検索カテゴリは単独で、または組み合わせて使用できます。



4. 追加した検索カテゴリごとに、検索フィルターを追加することで検索対象を絞り込むことができます。



5. 検索結果のビデオのプレビューを表示するには、検索結果を選択し、プレビューエリアにある  をクリックします。



全画面モードでビデオシーケンスを再生するには、検索結果をダブルクリックします。

6. アクションバーを表示するには、検索結果にひとつずつカーソルを当て、表示される青いチェックボックスを選択します。



青いアクションバーが表示されます：



モーションの検索（スマートサーチ）

モーションのあるビデオ録画を検索する場合、スマートサーチフィルターを適用すると、定義したエリア内にモーションがある検索結果のみを表示することができます。

例

スマートサーチを使って、複数のカメラでモニターしている 出入口に入る人のビデオを検索してみましょう。

要件

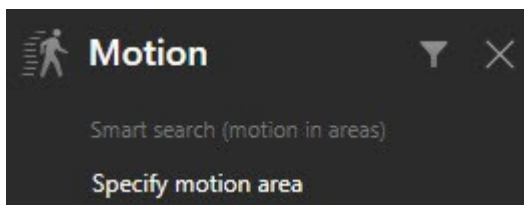
スマートサーチフィルターを使用するには、システム 管理者があなたのユーザープロフィールでスマートサーチを有効にしておく必要があります。

手順：

1. **検索**タブでタイムスパンを選択します。
2. 検索に含めるカメラを選択します。
3. **検索対象**>**モーション**>**新規検索**の順にクリックします。選択したタイムスパンとカメラにモーションのある録画がデータベースに存在する場合、その録画は検索結果ペインにサムネイル画像として表示されます。

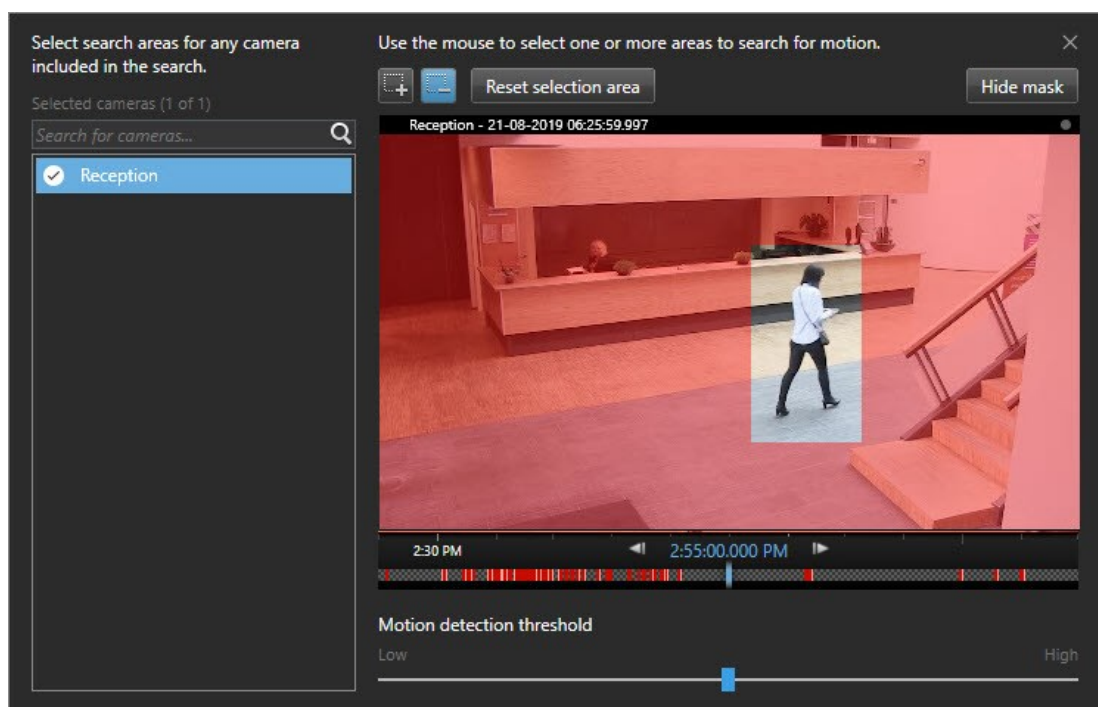
4. 選択したエリア限定でモーションを検出するには、以下を実行します。

1. モーションで0台のカメラを選択済みをクリックします。



ダイアログが表示され、選択したカメラのリストが示されます。

2. 一度に1台ずつカメラを選択し、赤いプレビューエリア内をクリック&ドラッグして少なくとも1つのエリアのマスクを解除します。システムはそのエリアのみを検索します。複数のエリアをマスク解除することができます。



モーション検知の感度はシステム管理者が個々のカメラについて Management Client で設定しています。ただし、感度はスライダーを使用して調整できます。詳細については、[54ページのモーション検知しきい値（説明付き）](#)をご参照ください。

3. 検索が自動的に行われます。ダイアログの外をクリックすると検索結果に戻ります。

4. アクションを実行するには、例えば検索結果をブックマークする場合は、検索結果の上にカーソルを当てて、チェックボックス を選択します。アクションバーが表示されます。



モーション検知しきい値（説明付き）

カメラの選択エリア内のモーションを検索する際には、モーションしきい値を調整できます。モーションしきい値により、モーション検知機能の感度が決まります。

- しきい値が高いほど、モーション検出の起動に必要なモーションが多く必要になります。これにより検索結果の数が減ります
- しきい値が低いほど、モーション検出の起動に必要なモーションが少なくなります。これにより検索結果の数が増えます

ブックマークの検索

自分または他の人物によってブックマークが付けられたインシデントを検索できます（カメラの台数は無制限）。

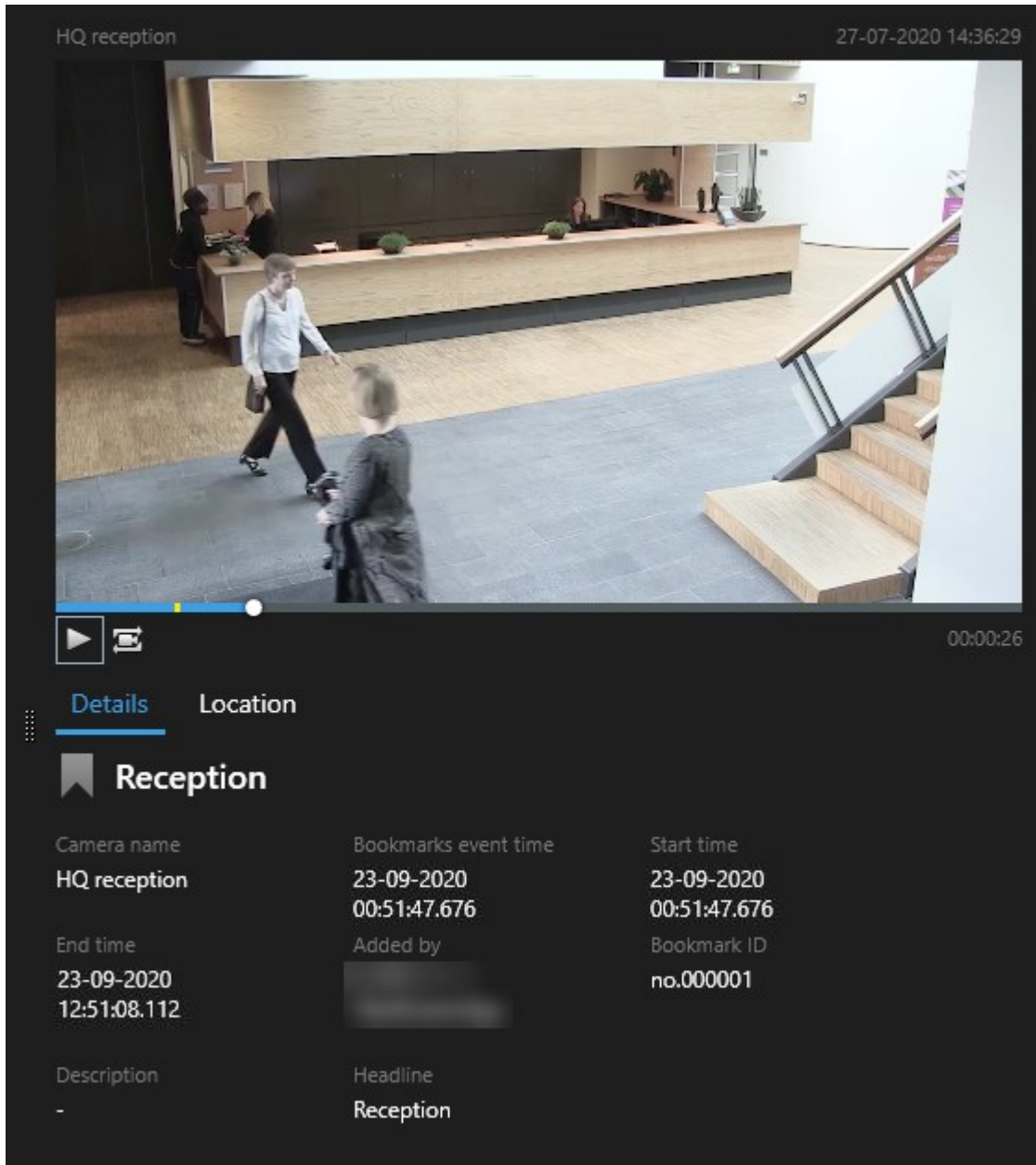
手順：

1. 検索に含めるカメラを選択します。
2. **検索対象**>**ブックマーク**>**新規検索**の順にクリックします。データベースにブックマークをした録画があれば、検索結果ペインにサムネイル画像が表示されます。
3. 必要に応じて、キーワードを入力して検索結果を絞り込みます。以下のキーワードを使用できます。
 - 完全な**ブックマークID**。no.000004
 - 例：site\user2
 - **見出し**または**説明**に表示される任意のテキスト



デフォルトでは、システムは**見出し**および**説明**の両方にあるキーワードを検索します。これを変更するには、**以下でキーワードを検索**を使用します。

4. ビデオシーケンスとブックマークの詳細をプレビューするには、右側のプレビューペインで検索結果を選択してビデオを再生します。



5. 全画面モードで録画を表示するには、検索結果をダブルクリックします。
6. その他のアクションを実行するには、例えば検索結果をブックマークする場合、検索結果の上にカーソルを当ててチェックボックス を選択します。アクションバーが表示されています。



アラームの検索

アラームに関連したビデオ録画を検索する際には、検索フィルターを適用することで、特定のアラーム（特定のオペレータに割り当てられた特定の状態にあるアラームなど）を伴う検索結果のみを表示することができます。

手順：

1. 検索に含めるカメラを選択します。
2. **検索対象>アラーム>新規検索**の順にクリックします。
3. 検索フィルターを適用して検索結果を絞り込みます。以下に基づいてフィルターできます。
 - **優先度**
 - **ステータス**
 - **ID** - 検索したいIDをフルで入力します
 - **所有者**
 - **サーバー** - 以下を使用している場合にのみ利用できます：Milestone Federated Architecture™



Milestone Federated Architecture™を使用している場合、**優先度**と**ステータス**フィルターは、接続されているすべてのサイトで適用されます。

イベントの検索

イベントに関連したビデオ録画を検索する際には、検索フィルターを適用することで、特定のイベント（特定のソースまたはサーバーから発生したイベントなど）を伴う検索結果のみを表示することができます。

手順：

1. 検索に含めるカメラを選択します。
2. **検索対象>イベント>新規検索**の順にクリックします。
3. 検索フィルターを適用して検索結果を絞り込みます。以下に基づいてフィルターできます。
 - **ソース**
 - **ID** - 検索したいIDをフルで入力します
 - **サーバー** - 以下を使用している場合にのみ利用できます：Milestone Federated Architecture™

人物の検索



この検索カテゴリと検索フィルターは、システム管理者によって有効にされている場合にしか使用できません。

人物に関連したビデオ録画を検索する際には、検索フィルターを適用することで、ある特徴を持つ人物（特定の年齢または身長的人物など）を伴う検索結果のみを表示することができます。

1. 検索に含めるカメラを選択します。
2. **検索対象>人物>新規検索**の順にクリックします。
3. 検索フィルターを適用して検索結果を絞り込みます。以下に基づいてフィルターできます。
 - **年齢** - 検索対象を特定の年齢層の人物に絞り込みます
 - **性別** - 検索対象を男性または女性のいずれかに絞り込みます
 - **身長** - 検索対象を特定の身長範囲の人物に絞り込みます
 - **顔** - チェックボックスを選択して、検索対象を顔が映っている人物に絞り込みます。

車両の検索



この検索カテゴリと検索フィルターは、システム管理者によって有効にされている場合にしか使用できません。

車両の検索は、システムにXProtect® LPRがインストールされている場合でも可能です。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください

車両に関連したビデオ録画を検索する際には、検索フィルターを適用することで、特定の車両（特定の国で発行された特定のナンバープレートが付いた車両など）を伴う検索結果のみを表示することができます。

1. 検索に含めるカメラを選択します。
2. **検索対象>車両>新規検索**の順にクリックします。
3. 検索フィルターを適用して検索結果を絞り込みます。以下に基づいてフィルターできます。

- **色** - 検索対象を特定の色の車両に絞り込みます
- **ナンバープレート** - ナンバープレート番号の一部またはすべてを入力して絞り込みます
- **国** - 検索対象を特定の国によって発行されたナンバープレートに絞り込みます



この検索フィルターは、システムにXProtect® LPRがインストールされている場合のみ使用できます。

- **車両速度** - 検索対象を特定の速度で走行している車両に絞り込みます
- **車種** - 検索対象を車種（トラックなど）に基づいて絞り込みます
- **マッチリスト** - 特定のマッチリストに含まれるナンバープレートを絞り込みます



この検索フィルターは、システムにXProtect® LPRがインストールされている場合のみ使用できます。

特定の場所で録画されたビデオを検索



この検索カテゴリと検索フィルターは、システム管理者によって有効にされている場合にしか使用できません。

特定の場所で録画されたビデオを検索する際には、検索フィルターを適用することで場所に基づいて検索結果を絞り込むことができます。

1. 検索に含めるカメラを選択します。
2. **検索対象**>**ロケーション**>**新規検索**の順にクリックします。
3. 検索フィルターを適用して検索結果を絞り込みます。緯度と経度、そして検索半径を指定することで、地理的座標に基づいて検索結果を絞り込むことができます。

検索結果、設定、アクション

このセクションでは、検索タイムライン、さまざまな設定、検索中に実行できることについて説明します。

検索の保存と管理に関する詳細については、[75ページの検索の管理](#)を参照してください。

検索タブでタイムラインを検索

タイムラインを検索では、検索結果がどのように分布しているかの概要がわかります。検索結果をナビゲートすることもできます。

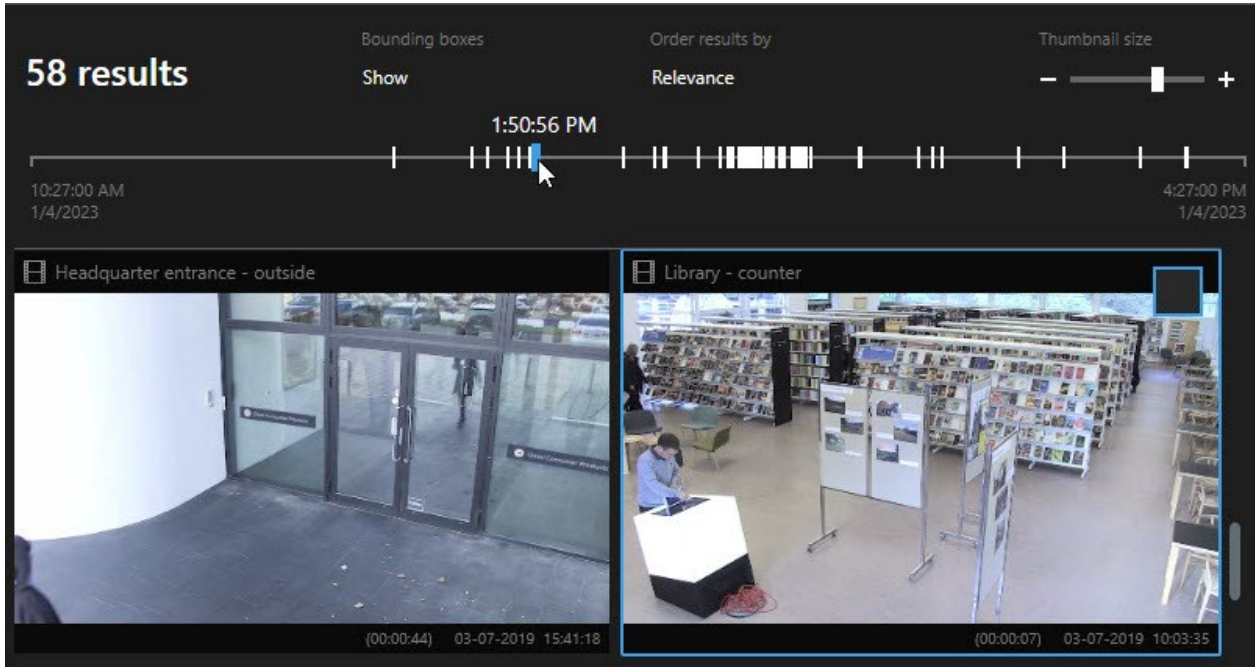
タイムラインを検索の範囲は、選択したタイムスパン、例えば、**過去6時間**などによって変わります。



白いマーカーは検索結果の場所を指しています。

それぞれのマーカーは、複数の検索結果があることを示している場合もあります。マーカーの上にカーソルを当てると、イベントやインシデントが記録された時間とカメラに関する情報が表示されます。

検索結果間を移動するには、マーカーをクリックします。マーカーが青くなり、関連する検索結果が青い境界線で囲まれます。



選択したマーカーが複数の検索結果を示している場合は、最初の検索結果にマークが付きます。



マーカーが10件以上の検索結果を示している場合は、メッセージに検索結果の件数と 関連するカメラの台数が表示されます。



検索結果から利用できるアクション（概要）

検索結果に基づき、複数のアクションを利用できます。青いアクションバーでは一部のアクションを利用でき、他のアクションはプレビューエリアで使用できます。



可能なアクションは、ユーザー権限により異なる場合があります。

アクション	説明
	<p>[エクスポート] タブ>[エクスポートリスト] に選択したシーケンスを追加します。</p> <p>エクスポートリスト に追加するシーケンスはすべて、エクスポート タブでエクスポートの準備ができています。80ページのビデオ、音声、静止画像のエクスポートもご参照ください。</p>
	<p>検索結果に関する情報(ビデオシーケンスから取得した静止画像など)が記されたPDFレポートを作成します。</p>
	<p>複数の検索結果に同時にブックマークを付けます。</p>
	<p>複数のブックマークを同時に編集します。</p>
	<p>エビデンスロックをかけることで、関連デバイスに存在するビデオシーケンスとデータ（音声など）が削除されないようにします。</p>
	<p>複数の検索結果をサブウィンドウで開きます。ここでは、ビデオのライブまたは再生モードでの表示、エクスポート、エビデンスロックの作成、Interconnectで接続されたVMSシステムに属するデバイスとカメラからの録画取得ができます。</p>

アクション	説明
	検索結果の複数のスナップショットを同時に撮ります。
	ビデオのプレビュー中、現在の時刻を個別再生タイムラインに転送できます。これは、たとえばインシデントが起きた時に、再生モードで関連するカメラを見る際に便利です。

MIP関連のアクション

サードパーティ製ソフトウェアに関連するその他のアクションが可能な場合があります。MIP SDKは、こうした他のアクションを追加するときに使います。

マージされた検索結果（説明付き）

複数の検索カテゴリを使用しており、検索結果が重複することがある場合は、ひとつにまとめられます。複数の検索結果になることもあります。これは、異なる検索条件が同じタイムスパン内の同じカメラからのビデオと一致する場合に発生します。基本的には同じビデオシーケンスであるさまざまな検索結果を返す代わりに、XProtect Smart Clientは、カメラメイやイベント時間、検索カテゴリといったあらゆる詳細が含まれた検索結果をひとつ返します。

例：

メモリー・レーン15の車両を見つける

過去2時間にメモリー・レーン15に駐車していたトラックのような車両を見つけたいとします。検索を構成するには：

1. 適正なエリアに配置されたカメラ10台を選択します。
2. **期間**を**過去2時間**に設定します。
3. **[車両]**の検索カテゴリを追加し、**[トラック]**でフィルタリングします。
4. **[場所]**の検索カテゴリを追加し、アドレスおよび検索範囲の地理的な座標でフィルタリングします。
5. **[すべての条件に一致]**チェックボックスを選択します。



詳細については、[57ページの車両の検索](#)または[58ページの特定の場所で録画されたビデオを検索](#)をご参照ください。

ブックマークされたアラームを見つける

2日前、XProtect VMSシステムでアラームが鳴りました。アラームを容易に見つけられるようにするため、ブックマークを付けました。再びブックマークを見つけてエクスポートしたいとします。検索を構成するには：

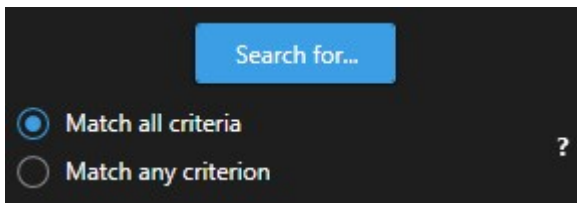
1. どのカメラがインシデントを録画していたのか覚えている場合は、そのカメラを選択します。覚えていなければ、可能なカメラの範囲を選択します。
2. **[期間]**を**[過去24時間]**に設定するか、**カスタム間隔**を指定します。
3. **[ブックマーク]**と**[アラーム]**の検索カテゴリを追加します。
4. **[すべての条件に一致]**チェックボックスを選択します。



詳細については、[54ページのブックマークの検索](#)または[56ページのアラームの検索](#)をご参照ください。

検索条件の一部またはすべてに一致（説明付き）

XProtect CorporateまたはXProtect Expertを使用している場合は、同じ検索で複数の検索カテゴリを使用できます。検索を設定する際、検索カテゴリの一部またはすべてに一致する必要があるかどうかを指定します。



すべての基準を満たすと、検索結果は少なくなります。より正確な結果が出ます。さらに、検索結果が重複すると、より少ない結果にまとめられます。[61ページのマージされた検索結果（説明付き）](#)もご参照ください。

一部の基準を満たすと、数は多くなりますが、正確さの低い検索結果が出ます。





通常、アクションバーで利用できるアクションは、マージされた検索結果では使用できない可能性があります。これは、実行しようとしているアクションを検索カテゴリのいずれかで使用できない場合に発生します。

カメラまたはビューから検索を実行

1つまたは複数のビデオストリーム内で何か具体的なものを検索する場合は、単一のカメラまたはビュー全体からのカメラを対象に検索を開始できます。検索ワークスペースが新しいフローティングウィンドウで開きます。

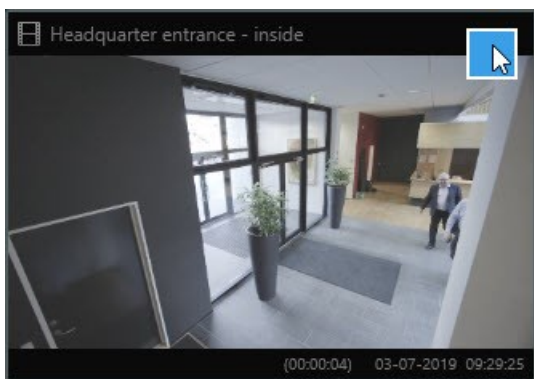
手順：

1. ライブまたは再生モードに切り替えます。
2. 単一のカメラで検索するには:
 1. 表示アイテムの上にカーソルを置きます。カメラツールバーが表示されます。
 2.  をクリックします。[検索]ウィンドウが開き、表示アイテム内のカメラにおいて録画ビデオの検索を開始できます。
3. ビュー内のすべてのカメラで検索するには:
 1. 適切なビューが開かれていることを確認します。
 2. ビュー上部にある  をクリックします。[検索]ウィンドウが開き、ビュー内のカメラにおいて録画ビデオの検索を開始できます。
 3. 何を探しているかに応じて、時間帯、検索カテゴリ、フィルターなどを修正します。詳細については、[48ページのビデオデータの検索](#)をご参照ください。

サブウィンドウで検索結果を開く


新しいウィンドウで検索結果を開くことができます。このウィンドウは再生モードで開き、メインのタイムラインを使用してインシデントを調査し、ビデオのエクスポートなど他のアクションの実行を可能にします。

1. 検索結果にカーソルを当てて、表示される青いチェックボックスを選択します。



2. 青いアクションバーが表示されます：



3.  をクリックすると、再生モードで検索結果が新しいフローティングウィンドウに表示されます。
4. ウィンドウを別のモニターに移動するには、ウィンドウをクリック&ドラッグし、適切な場所で放します。

検索結果からビデオをプレビュー


探しているビデオシーケンスが見つかったかどうかは、クイックプレビューを実行することで確認できます。

手順：

1. **[検索]**タブで検索を実行し、検索結果を選択します。プレビューエリアに、関連するビデオシーケンスの静止画像が表示されます。

The screenshot displays a video player interface for a security camera. The video shows a parking lot with several cars. The title of the video is "HQ parking lot" and the timestamp is "27-07-2020 14:27:06". Below the video player, there are two tabs: "Details" (selected) and "Location". The "Details" panel shows the following information:

Camera name	Motion event time	Start time
HQ parking lot	23-09-2020 00:51:47.676	23-09-2020 00:51:47.676
End time	Alarm name	ID
23-09-2020 12:51:08.112	Moving vehicle	22
Owner	Priority	Server
-	High (Level 1)	My site
Source	State	
HQ parking lot	New (Level 1)	

2.  をクリックしてビデオを再生します。
3. ビデオシーケンスのプレビューを全画面モードで表示するには、個々の検索結果をダブルクリックします。

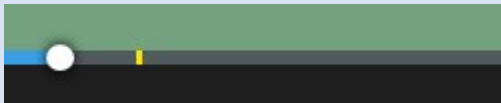
再度ダブルクリックすると検索結果に戻ります。

4. ズームイン／アウトするには、マウスホイールでスクロールします。クリック & ドラッグで特定のエリアをズームすることも可能です。

タイムラインを検索の黄色いマーカーはイベント時間を示します。マーカーの上にマウスを動かすと、イベント時間が表示されます。



検索結果が組み合わせられると、複数のマーカーが同じタイムラインを検索に表示されます。



これは、[**モーション**]と[**車両**]で検索し、検索結果が両方の基準に一致する場合などに発生します。この例では、ひとつのマーカーがモーションの開始時間を示しています。他のマーカーは、車両が車両として識別された時間を示します。

検索中にバウンディングボックスを表示/非表示にする

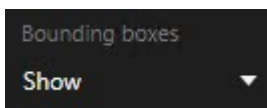
検索中にバウンディングボックスを使用すると、（モーション検出などにもとづいて）オブジェクトを特定しやすくなります。境界ボックスはオン または オフ に切り替えることができます。



バウンディングボックスはたいてい、検索結果のサムネイル画像に表示されます。ただし、VMS システムがメタデータを検索するよう設定されている場合、検索結果のビデオをプレビューするとバウンディングボックスも表示されます。

手順：

1. [検索] タブに移動し、検索を実行します。
2. **バウンディングボックス** の右上で、次のことができます：
 - **表示** を選択すると、バウンディングボックスが表示されます。
 - **非表示** を選択すると、バウンディングボックスが非表示になります。



並べ替えオプション

検索結果は以下の基準で並べ替えることができます。

名前	説明
関連性	<p>この並べ替えオプションは、以下の製品のひとつを使用している場合にのみ利用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XProtect Corporate • XProtect Expert <p>関連性は、検索の設定方法に応じて異なることを意味します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 選択された検索カテゴリがない、またはひとつ - イベント時間が最新の検索結果が最初に表示されます • 選択された複数の検索カテゴリ / すべての条件に一致 - 一致する検索カテゴリが最も多い検索結果が最初に表示されます。2つの検索結果に同じ数の一致検索カテゴリが含まれている場合は、イベント時間が最新の検索結果が最初に表示されます。 • 選択された複数の検索カテゴリ / すべての条件に一致 - イベント回数が最も多い検索結果が最初に表示されます。2つの検索結果に同じ数のイベント回数が含まれている場合は、イベント時間が最新の検索結果が最初に表示されます。
最新のイベント時間	<p>最初に最も直近のイベント時間の検索結果が表示されます。</p>
一番古いイベント時間	<p>最初に最も古いイベント時間の検索結果が表示されます。</p>
最新の開始時間	<p>最初に最も直近の開始時刻の検索結果が表示されます。</p>
一番古い開始時間	<p>最初に最も古い開始時刻の検索結果が表示されます。</p>

検索中にカメラの位置を特定する

VMSシステムがスマートマップを使用するよう設定されている場合は、ビデオや関連データの検索中にスマートマップのプレビューでカメラの位置を表示できます。

要件

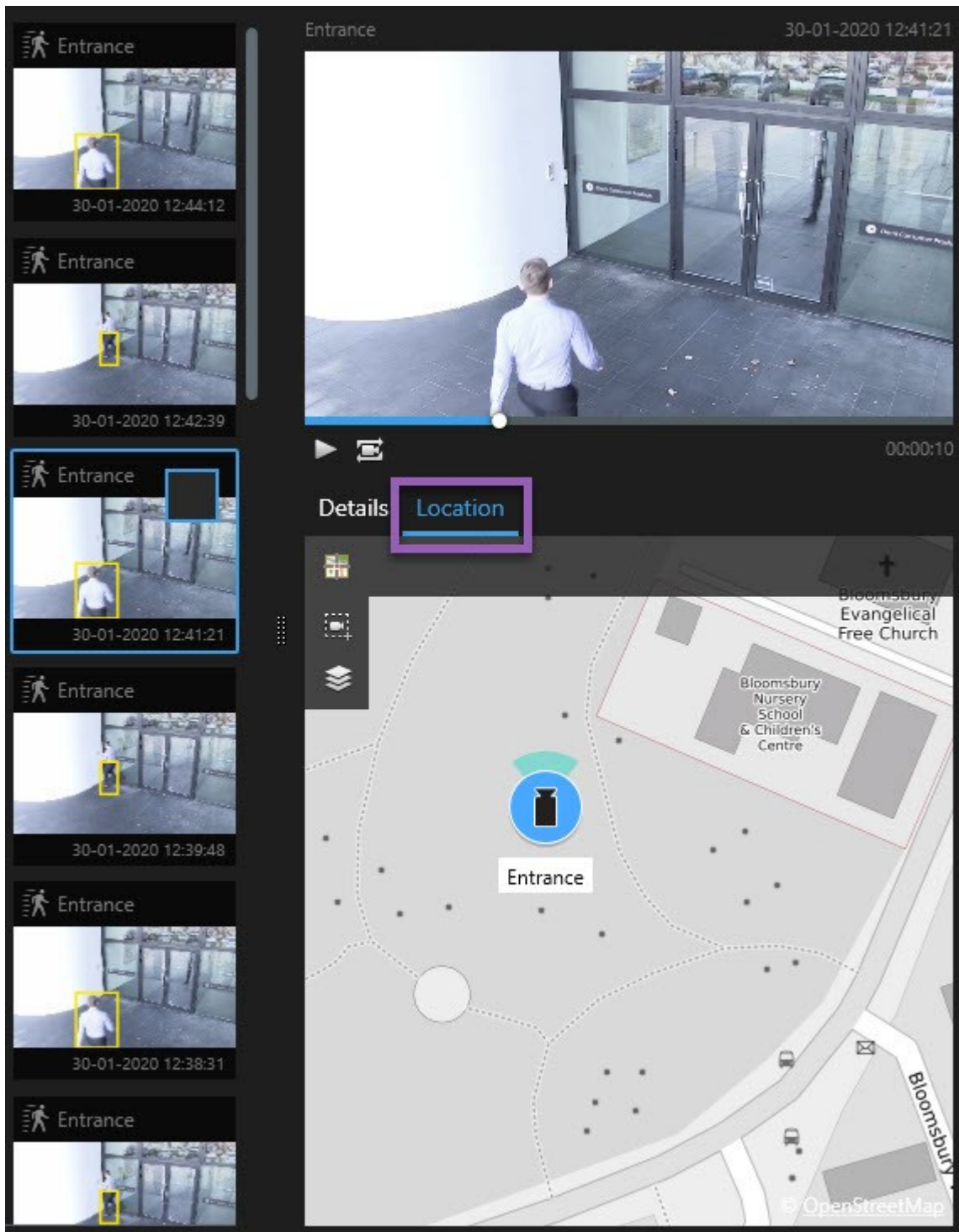
- 以下のいずれかのXProtect製品を使用している：
 - XProtect Corporate
 - XProtect Expert




- カメラが地理情報と併せて配置されている。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

手順：

1. 関心のある検索結果を選択します。



2. プレビューエリアで [場所] を選択します。カメラが地理情報に応じて表示されます。

3. 周囲の概観を把握するには、マウスのスクロールホイールでズームアウトするか、カメラがPTZカメラの場合はパンします。
4. カメラに戻るには  **再度中心に戻る** をクリックします。


カメラアイコン（説明付き）

本トピックで取り上げるアイコンの一部は [検索] タブの [場所] 領域にしか表示されない一方、赤で示されたアイコンはアラームに関連付けられており、スマートマップが含まれるビューにも表示されます。どのアイコンが表示されるかは状況に応じて異なります。

以下のテーブルにおいて：

- 灰色の背景は、カメラが選択されていないことを示しています
- 青い背景は、カメラが選択されていることを示しています

アイコン	タブ/モード	説明
 	[検索] タブ	カメラがどの検索結果にも関連付けられていません。
 	[検索] タブ	カメラが関連付けられている検索結果が選択されました。
 	ライブモード、再生モード、検索タブ	これはソースカメラ（アラームをトリガーしたカメラ）です。
	ライブモード、再生モード、検索タブ	これは関連カメラ（選択したソースカメラ（アラームを起動したカメラ）に関連付けられているカメラ）です。 このアイコンは、ソースカメラの選択後にのみ表示されません。

アイコン	タブ/モード	説明
	<p>ライブモード、再生モード、検索タブ</p>	<p>これは、ソースカメラと関連カメラの両方を指します。このカメラは：</p> <ul style="list-style-type: none"> • アラームを起動したカメラである • 選択したソースカメラ（アラームを起動したカメラ）に関連付けられている <p>このアイコンは、ソースカメラの選択後にのみ表示されません。</p>





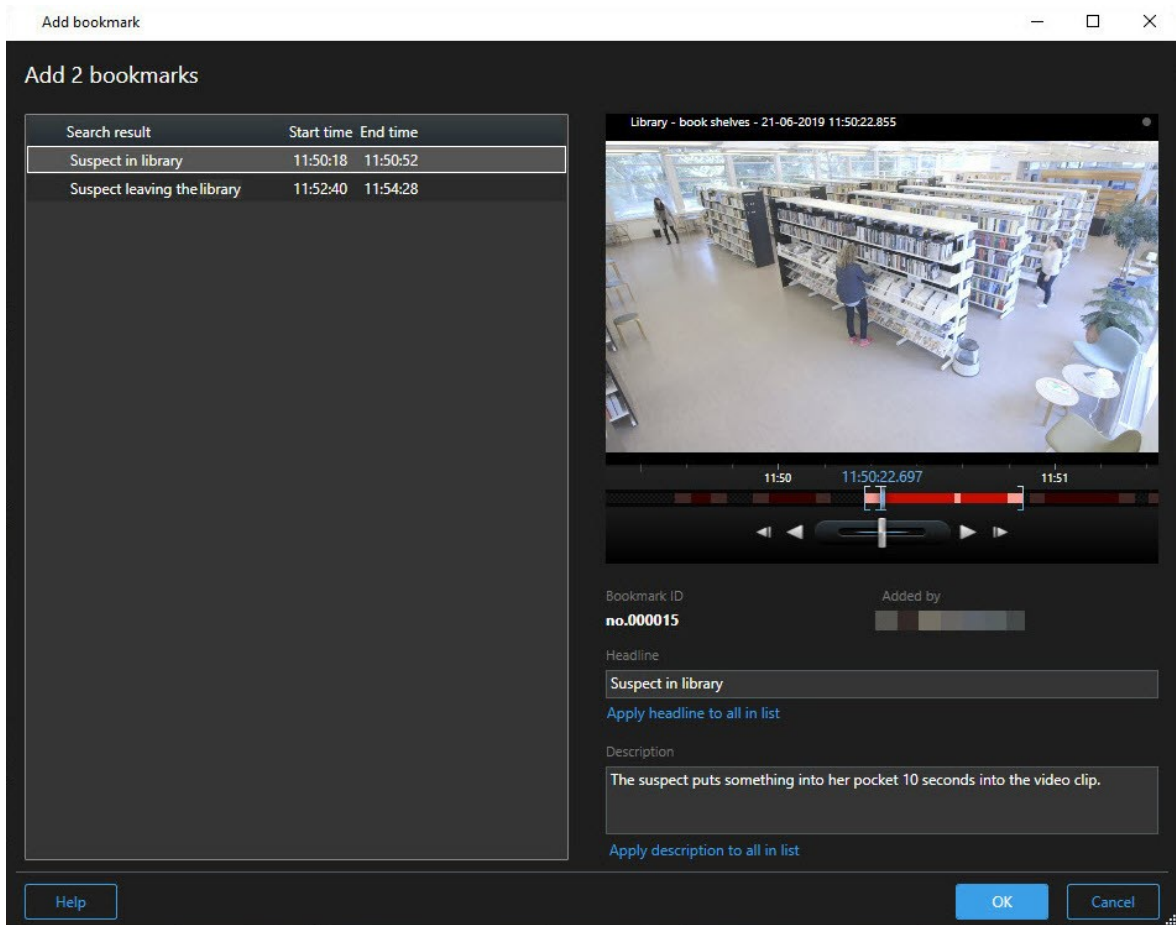
ソースカメラと関連カメラは、アラーム定義の一部としてXProtect Management Clientで定義されます。

検索結果のブックマーク

検索して見つけたインシデントを文書化したり共有するために、複数の検索結果を一度にブックマークすることができます。インシデントをブックマークすると、自分や他のオペレータが後でインシデントを検索できます。

手順：

1. ブックマークしたい検索結果それぞれについて、カーソルを当ててブルーのチェックボックス  を選択します。
2. ブルーのアクションバーで  をクリックします。ウィンドウが表示されます。図は、2件の検索結果が選択された状態を示しています。



3. 検索結果を一つひとつ選択して詳細をブックマークに追加し、次のステップに従います:

1. デフォルトのタイムスパンを変更するには、タイムラインを検索のハンドルを新しい位置までドラッグします。



2. ヘッドラインと、例えばインシデントの説明も入力します。
3. すべてのブックマークに同じヘッドラインや説明を適用したい場合は、次をクリックします:

- リスト内の全アイテムに見出しを適用する
- リスト内の全アイテムに説明を適用する

4. [OK]をクリックしてブックマークを保存します。進捗バーで、ブックマークがいつできるかが分かります。



XProtect Smart Wallがシステムで設定済みの場合は、[Smart Wallに表示] をクリックして、Smart Wallのモニターにブックマークを送信します。

検索結果のブックマークを編集する


システムでブックマークの詳細(タイムスパンやヘッドライン、説明など)を編集することができます。複数のブックマークを同時に編集することもできます。

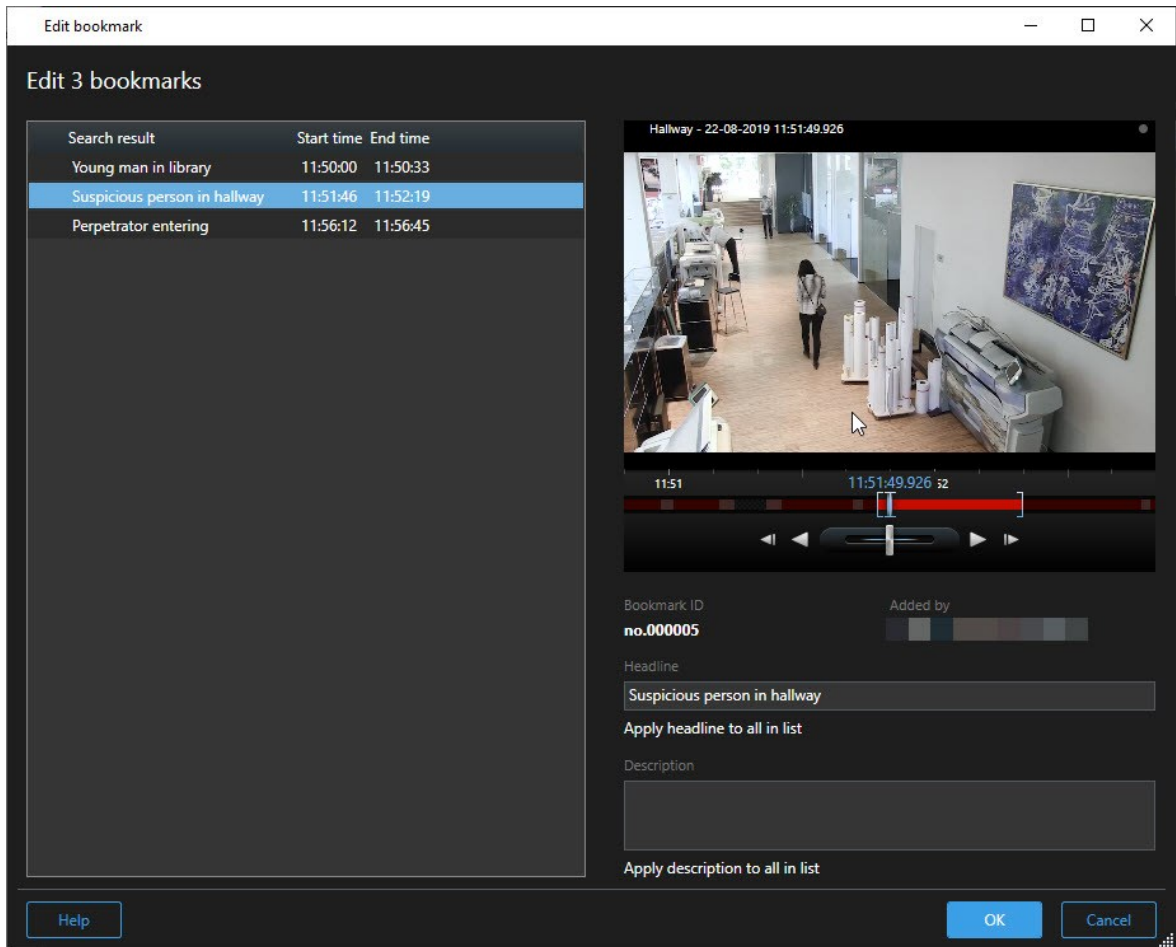
要件

ブックマークを編集するには、ユーザー権限が必要です。これは、システム管理者が[役割]>[全体のセキュリティ]のManagement Clientで行ったものです。

手順:

1. [検索]タブで、編集したいブックマークを見つけます。検索を実行するときは、必ず[検索対象]>[ブックマーク]の順で選択します。
2. 編集したいブックマークにそれぞれカーソルを当てて、青いチェックボックス を選択します。

3. ブルーのアクションバーで  をクリックします。ウィンドウが表示されます。



4. 検索結果を一つひとつ選択し、詳細(タイムスパンやヘッドライン、説明など)を編集することができます。
5. **[OK]**をクリックして変更を保存します。慎重バーで、変更の保存がいつ完了するか分かります。





XProtect Smart Wallがシステムに設定済みの場合は、**[Smart Wallで表示]** をクリックしてビデオウォールをブックマークに送信します。

検索結果のスナップショットを撮る


複数のスナップショットを一度に撮れば、検索結果から静止画像を保存して共有することができます。

手順：

1. 検索を実行したら、検索結果にひとつずつカーソルを当て、 チェックボックスを選択します。
2. 青いアクションバーで、 をクリックして[スナップショットの作成]を選択します。進捗バーで、スナップショットがいつできるかが分かります。
3. コンピュータ上のスナップショットの場所を特定するには、[設定]ダイアログ>[アプリケーション]>[スナップショットへのパス]で指定された場所へと移動します。

検索時間をメインタイムラインに転送

検索タブで検索結果をプレビューする際、メインタイムラインの時刻とタイムラインを検索の時刻を同期できます。これは例えば、インシデントを見つけたとき、同じ時間に他のカメラで何が起きていたかを調べたい場合に便利です。

1. [検索]タブで検索結果を選択します。
2. プレビューエリアで、 をクリックして、タイムラインを検索の現在の時刻をメインのタイムラインに転送します。引き続き**検索**タブが表示されます。



3. 他の関連するカメラをチェックするには、再生モードに切り替え、閲覧したいカメラを含むビューを選択します。メインのタイムラインは今検索結果と同期しています。

検索の管理



この機能は、特定のXProtect VMSシステムでのみ使用できます。詳細については、製品比較チャートを参照してください。

<https://www.milestonesys.com/products/software/product-index/>

検索条件を保存すれば、後で同じ条件で検索を行ったり、他のオペレータと共有したりできます。ユーザー権限によっては、個人情報でない限り、他者が作成した検索条件にもアクセスして使用することが可能です。検索条件が保存されれば、以下が可能です：

- 名前と説明を変更する、ならびに検索をプライベートまたはパブリックに設定する
- 検索条件の設定内容を修正する(カメラの追加/削除や検索カテゴリの調整など)
- 古くなった検索条件を削除する


検索条件の保存

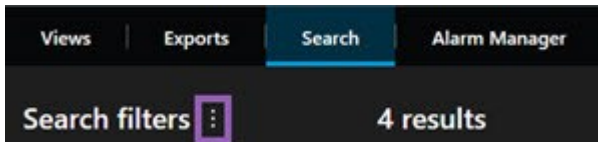
検索条件を保存すれば、後で同じ条件で検索を行ったり、他のオペレータと共有したりできます。

要件

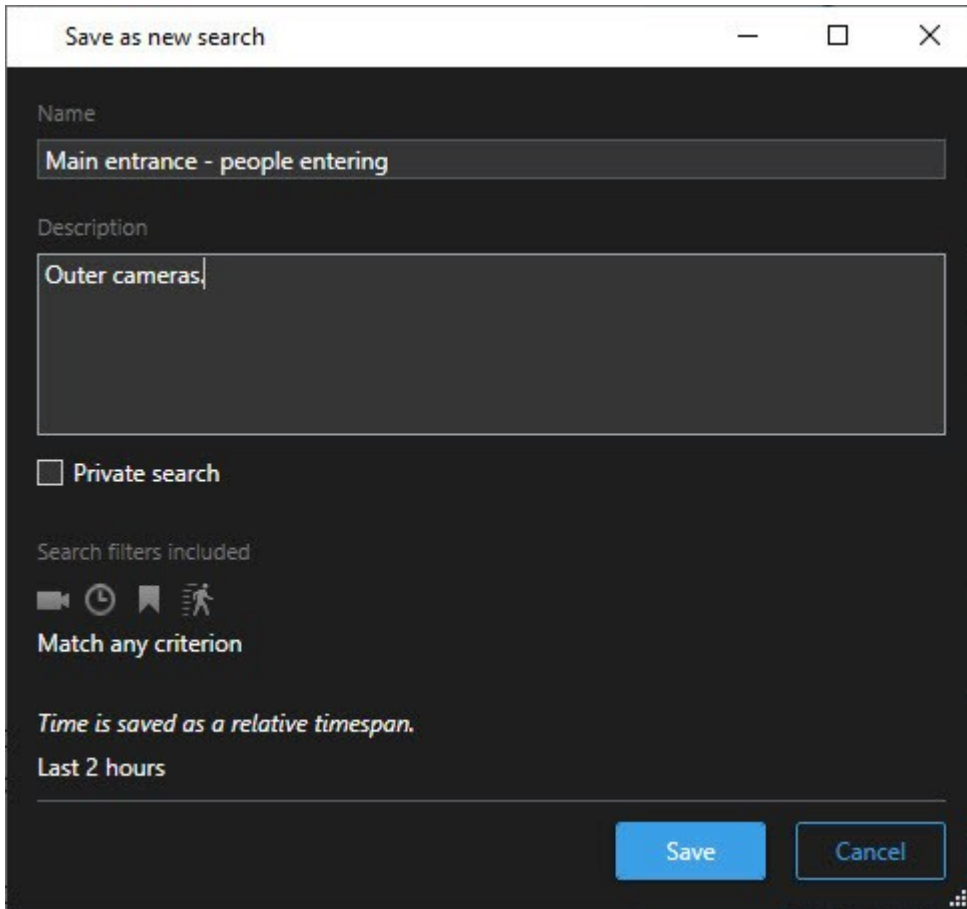
VMSシステムの他のユーザーも使用できるように新しい検索条件を保存するには、**で、自身の役割に対して**パブリックサーチを作成するXProtect Management Clientのユーザー権限が有効になっていなければなりません。

手順：

1. **[検索]**タブで検索条件を設定します。[48ページのビデオデータの検索](#)をご参照ください。
2. **[検索フィルター]**の右側にある  をクリックします。



- 表示されるリストで、**[名前を付けて保存]**をクリックします。ウィンドウが表示されます。



- この検索条件を探すうえで役に立つ名前を付け、可能であれば説明も加えます。これで、後でキーワードを用いて検索条件を探す際に、検索条件に**[名前]**と**[説明]**の両方のフィールドが表示されます。
- 検索が自分だけにしか表示されないよう設定するには、**[非公開検索]**チェックボックスをオンにします。
- [保存]**をクリックします。検索条件の保存状況が進捗バーに示されます。




保存した検索条件の概要を取得するには、をクリックしてから **[開いて検索を管理]** をクリックします。

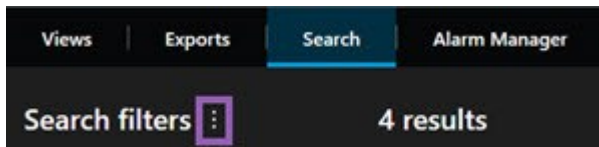
保存した検索条件を探して開く

要件

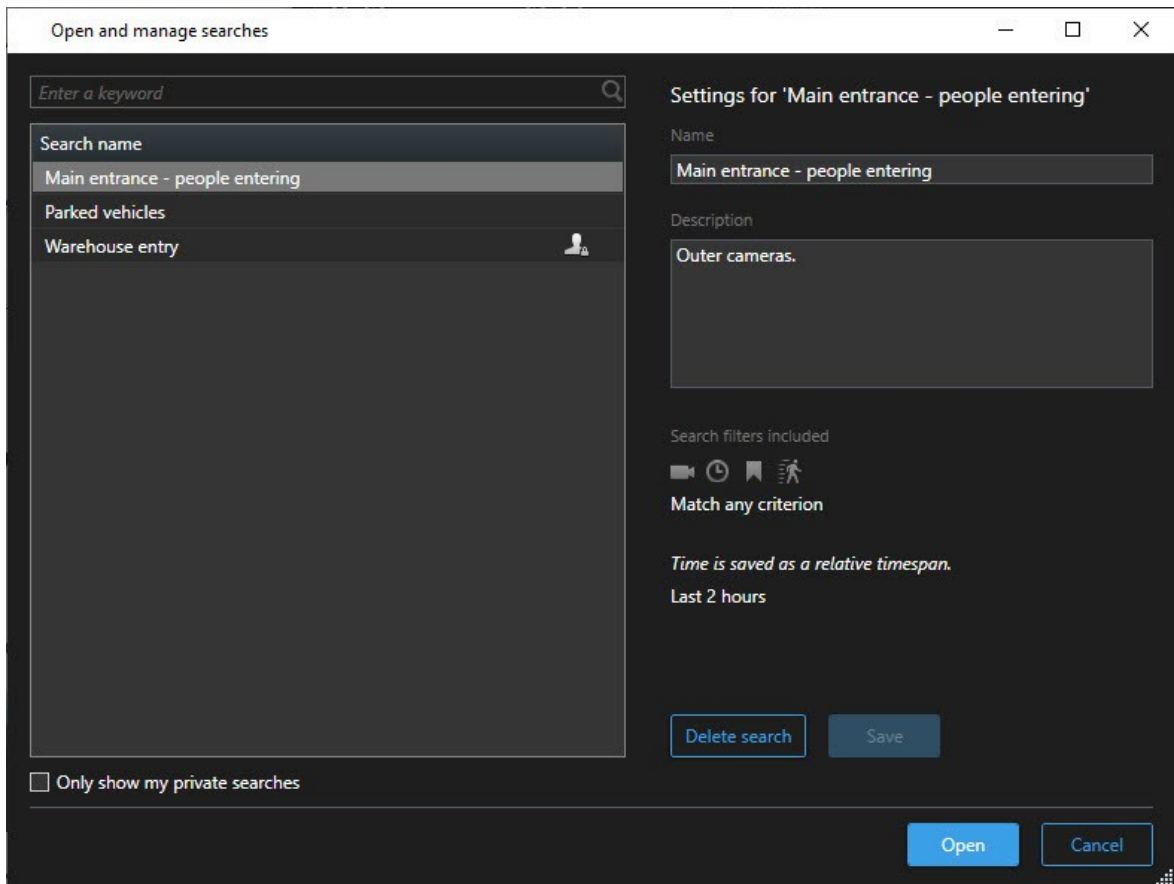
パブリックサーチを検索して開くには、**で、自身の役割に対して**パブリックサーチを読み取るXProtect Management Clientのユーザー権限が有効になっていなければなりません。

手順：

1. [検索]タブで、[検索フィルター]の右側にある  をクリックします。




2. 表示されるリストで、[開いて検索を管理] をクリックします。ウィンドウが表示されます。



3. 開きたい検索条件を探し、ダブルクリックするか[開く]をクリックして開きます。検索が即座に実行されます。



リストされる検索条件の数が多い場合は、キーワードを使用して検索できます。この検索条件には、[名前] フィールドと [説明] フィールドの両方が含まれています。

4. 検索条件を修正できます (カメラを追加するなど)。  > [保存] をクリックして変更を保存します。

保存した検索条件の編集または削除



この機能は、特定のXProtect VMSシステムでのみ使用できます。詳細については、製品比較チャートを参照してください。

<https://www.milestonesys.com/products/software/product-index/>

保存した検索条件の詳細を変更したり、検索条件の設定内容(検索カテゴリなど)を変更したりできます。

古くなった検索条件は削除できます。


要件

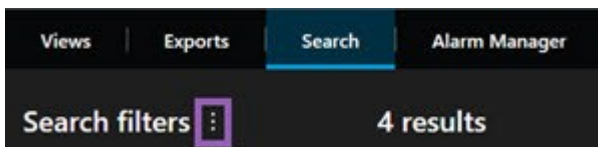
XProtect Management Clientでは、自身の役割に対して以下のユーザー権限が有効になっています：

- パブリックサーチを検索して開くには、**パブリックサーチを読み取る**ユーザー権限が有効になっていなければなりません
- パブリックサーチを編集するには、**パブリックサーチを編集する**ユーザー権限が有効になっていなければなりません
- パブリックサーチを削除するには、**パブリックサーチを削除する**権限が有効になっていなければなりません

手順：


保存した検索条件の詳細を編集

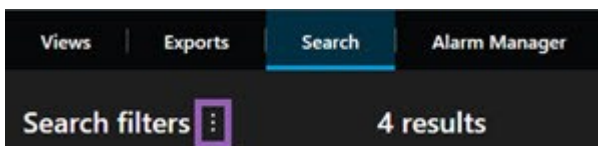
1. [検索]タブで、[検索フィルター]の右側にあるをクリックします。



2. 表示されるリストで、**[開いて検索を管理]** をクリックします。ウィンドウが表示されます。
3. 変更したい検索条件を探して選択します。
4. (検索条件の名前を入力するなど) 変更を適宜加え、**[保存]** をクリックします。

検索条件の構成を変更

1. [検索]タブで、[検索フィルター]の右側にあるをクリックします。



2. 表示されるリストで、**[開いて検索を管理]** をクリックします。ウィンドウが表示されます。

- 開きたい検索条件を探し、ダブルクリックするか**[開く]**をクリックして開きます。検索が即座に実行されます。



リストされる検索条件の数が多い場合は検索機能を使用します。

- カメラを追加するなどして、検索を修正したら、 **[保存]**をクリックします。

保存した検索条件を削除

- 上記に従って **[検索条件を開いて管理]** ウィンドウを開きます。
- 削除したい検索条件を探して選択します。
- [検索を削除]**をクリックします。

エビデンスビデオのエキスポート

発生したインシデントを文書化する必要がある場合、例えば法的エビデンスを提出する場合などに、XProtect Smart Client からビデオシーケンスをエキスポートすることができます。エビデンスビデオが改ざんされていないことを証明する必要がある場合は、XProtect形式でエキスポートできます。この形式を使用すると、エキスポートされたビデオの信頼性を検証するデジタル署名の背後にあるエビデンスを「ロック」できます。

ビデオ、音声、静止画像のエキスポート

ビデオおよび関連する音声をさまざまな形式でエキスポートします。VMS システムによっては、静止画像や利用できるその他の種類のデータもエキスポートできます。

エキスポート形式

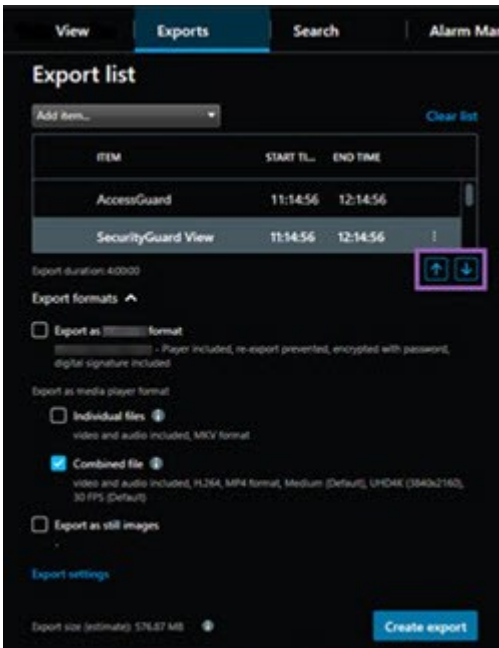
XProtect Smart Clientでは、次の1つまたは複数の形式でエキスポートできます。

フォーマット	説明
XProtect フォーマット	XProtect 形式を使用して、この形式を再生できる唯一のメディアプレーヤーである XProtect Smart Client - Player をエキスポートに含めます。エキスポートされたエビデンスが改ざんされていないことを確認できるようにするには、[エキスポート設定] > [XProtect形式] > [デジタル署名を含める] を選択します。この操作により、XProtect Smart Client - Player で [署名の検証] ボタンが利用できるようになります。
メディアプレーヤーのフォーマット	XProtectの知識を必要とせず、ほとんどのメディアプレーヤーで再生できる形式を使用します。この形式を再生するのに必要なのは、インストールされているメディアプレーヤーのみです。
静止画像	選択した期間のフレームごとに静止画像ファイルをエキスポートします。

[メディアプレーヤー形式としてエキスポート] オプションを使用してビデオシーケンスをエキスポートする場合、次の2つの形式でエキスポートすることができます。


- エクスポートリストに追加したビデオシーケンスごとにファイルをエキスポートする**個別ファイル**形式。

- エクスポートリストに追加したすべてのビデオシーケンスを、並べた順序に従って1つのファイルにエクスポートする**結合されたファイル**形式。エクスポートを開始する前に追加したビデオシーケンスを並べ替えるには、矢印を使用してエクスポートリスト内のファイルを並べ替えます。





エクスポートリストにビデオシーケンスを追加

エクスポートを作成する前に、**エクスポートリスト**にビデオシーケンスを追加する必要があります。XProtect Smart Clientでは、複数の場所からファイルを追加できます。

1. **[エクスポート]**タブの**[エクスポートリスト]**で、**[アイテムを追加]**を選択してビデオシーケンスを追加します。
2. **[検索]**タブで、エクスポートする検索結果ごとに青いチェックボックス をオンにし、青いアクションバーの**[エクスポートリストに追加]**を選択します。すべての検索結果を選択するには、1つの検索結果を選択して **Ctrl+A**を押します。表示される青いアクションバーで、**[エクスポートリストに追加]**  を選択します。

3. **[表示]** タブの **[再生]** モードでは、**エクスポートリスト** にビデオシーケンスを追加するための2つのオプションがあります。


オプション1：

1. タイムラインで、**[タイムラインに開始・終了時刻を設定]**  を選択し、エクスポートするシーケンスの開始・終了時刻を選択します。
2. エクスポートに含めたいアイテムごとに、関連のあるチェックボックス を選択します。すべての検索結果を同時にエクスポートするには、右上のワークスペースツールバーにある **[すべてを選択]** ボタン  を選択します。
3. **[エクスポート]** > **[エクスポート]** を選択し、選択したビデオシーケンスを **エクスポートリスト** に追加します。この操作により、**[エクスポート]** タブが自動的に表示されます。または、**[エクスポート]** > **[エクスポートリストに追加]** を選択して、選択したビデオシーケンスを **エクスポートリスト** に追加します。再生モードのままで、エクスポートリストにさらにシーケンスを追加できます。

オプション2：

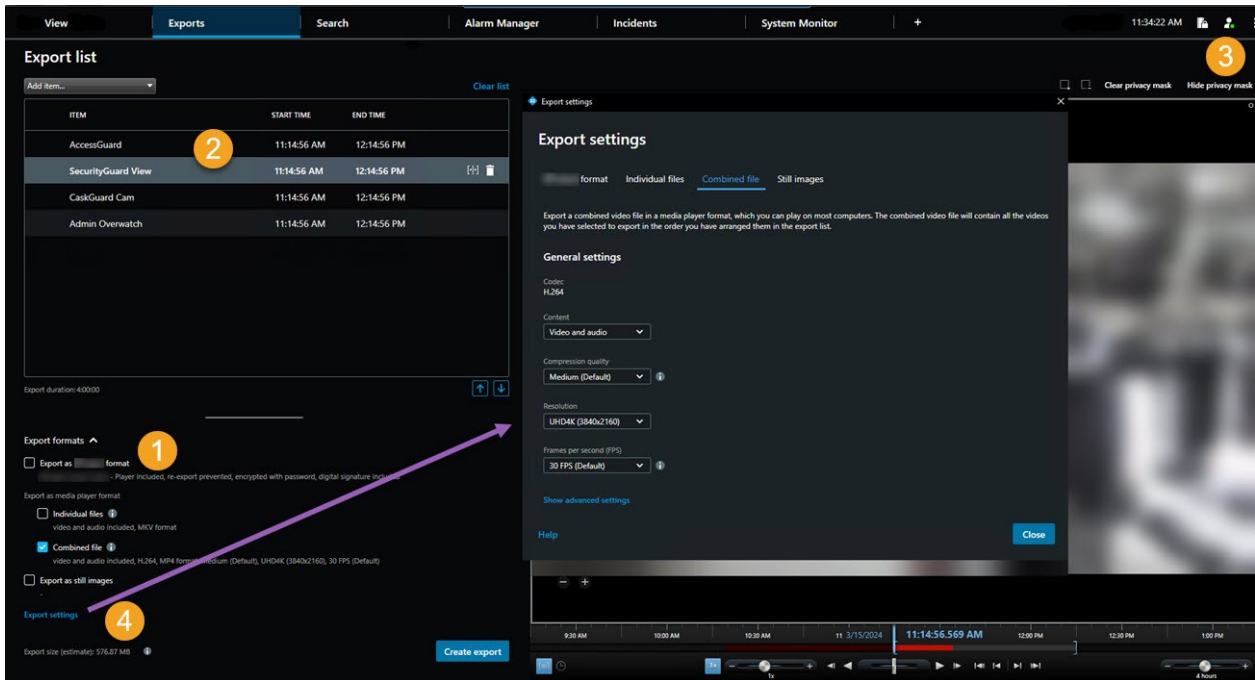
1. **エビデンスロックリスト** で、既存のエビデンスロックを選択します。
2. **[エクスポートリストに追加]** を選択して、選択したエビデンスロックを **エクスポートリスト** に追加して再生モードのままにするか、**[エビデンスロック]** > **[ビュー]** > **[エビデンスロックリスト]** を選択します。



エクスポートリスト に含まれる同じカメラから複数のビデオシーケンスをエクスポートするには、シーケンスを選択し、カメラ分割アイコン  をクリックします。

エクスポート設定の調整

[エクスポート] タブ > **[エクスポートリスト]** で1つ以上のビデオシーケンスを追加した場合、1つ以上のエクスポート形式を選択する必要があります。[80ページのエクスポート形式](#)をご参照ください。オプションで、エクスポート設定を調整できます。



エクスポートリストで、1つ以上のエクスポート形式を選択します。[80ページのエクスポート形式](#)をご参照ください。

エクスポートリストの各ビデオシーケンスの**開始時間**と**終了時間**を変更できます。

ビデオの複数の領域をカバーするため、ビデオシーケンスにプライバシーマスクを追加できます。[85ページのエクスポート中にプライバシーマスクを録画に追加](#)もご参照ください。

各形式の**エクスポート設定**を変更できます。



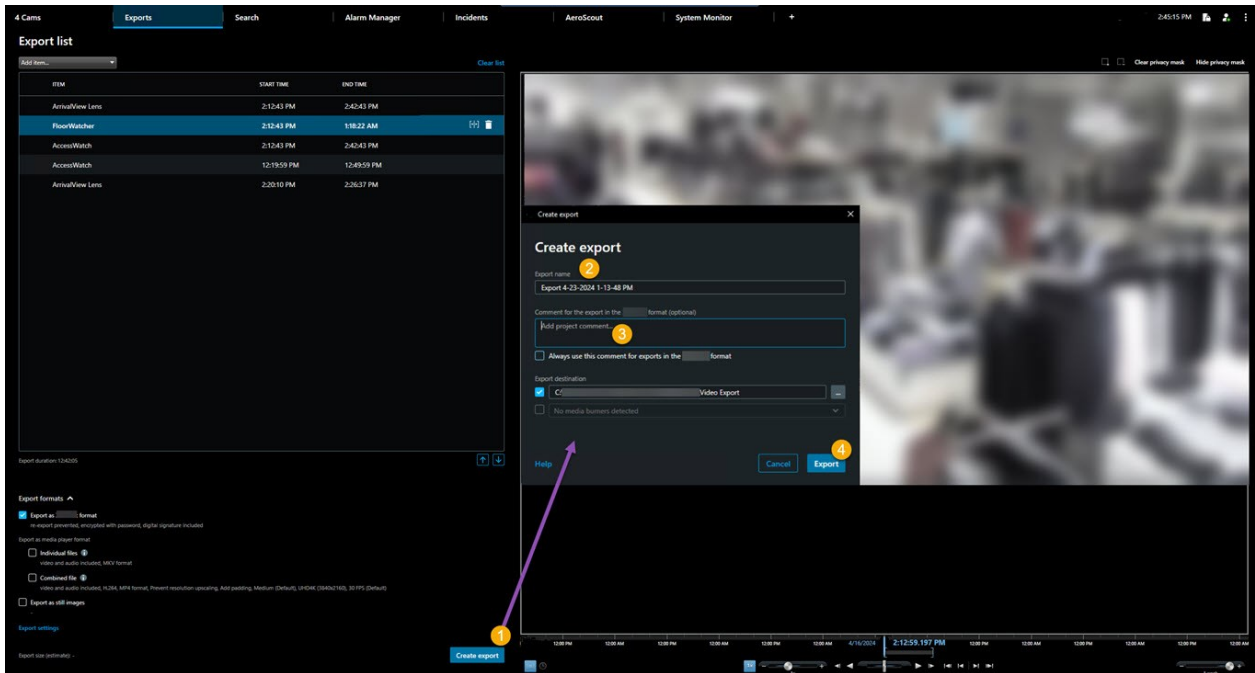
エクスポートの継続時間およびカメラの数は、エクスポートが完了するまでの時間に影響します。

エクスポートを作成

エクスポートタブ>エクスポートリストに1つ以上のシーケンスを追加すると、エクスポートを作成できるようになります。



ビデオデータをエクスポートする権限がない可能性があります。



1. [エクスポート作成] ボタンを選択します。[エクスポートを作成] ウィンドウが開きます。
2. エクスポート名フィールドには、自動作成されたエクスポート名が表示されます。名前は変更できます。
3. エクスポート先フィールドで、エクスポート先のパスを指定します。作成したエクスポートは、ここで選択したフォルダーに保存されます。
4. [エクスポート] を選択して、エビデンスをエクスポートします。
5. エクスポート先として指定したフォルダーにエクスポートが作成、保存されます。[86ページのエクスポートされたビデオの表示](#)もご参照ください。

エクスポートが完了する前に停止するには、[キャンセル] を選択し、表示されたウィンドウで [キャンセル] をクリックして確定します。[エクスポートリストの復元] を選択すると、キャンセルした後でもエクスポートリストをいつでも復元できます。同様に、エクスポートの失敗または成功後にエクスポートリストを復元することもできます。エクスポートリストを復元すると、順番は元のエクスポートリストと同じになり、ビデオシーケンスを並べ替える必要はありません。

統合されたファイルのエクスポートを開始し、ファイルが統合される前にエクスポートリスト内のビデオシーケンスを1つでも削除または名前変更すると、そのビデオシーケンスは最終的なエクスポートファイルには含まれません。エクスポート結果ウィンドウで、完了（エラーあり）、失敗、または一部失敗として表示されます。新規エクスポートを作成する必要があります。



これで、ビデオを安全に保存、共有する準備が整いました。エクスポートデータの取り扱いについて詳しくは、GDPR プライバシーガイドおよび [MilestoneVMS オペレータ向け GDPR e ラーニング](#) をご参照ください。

エクスポート中にプライバシーマスクを録画に追加

ビデオをエクスポートするときには、プライバシーマスクを追加して、選択した領域を見えなくすることができます。エクスポートされたビデオが再生された場合、プライバシーマスクが追加された領域は塗りつぶされたブロックとして表示されます。



ここで追加するプライバシーマスクは、**エクスポートリスト**で選択したカメラからの現在のエクスポートのすべてのビデオシーケンスに適用されます。プライバシーマスクをあるビデオシーケンスから解除した場合、そのカメラのその他すべてのビデオシーケンスからも自動的に解除されます。エクスポートには、システム管理者が特定のカメラに事前に設定しているプライバシーマスクがすでに含まれている場合があります。

1. **エクスポート** タブ>**エクスポートリスト**で、プライバシーマスクを追加したいカメラを選択します。
2. プライバシーマスクを追加したいそれぞれのエリアについて、 ボタンをクリックし、そのエリアにポインタをドラッグします。
3. プライバシーマスクの一部を解除するには、 ボタンをクリックし、プライバシーマスクを解除したいエリアにポインタをドラッグします。解除したい位置ごとにこのステップを繰り返します。



プライバシーマスクを一時的に非表示にするには、**プライバシーマスクを非表示** ボタンを長押しします。

4. **OK**をクリックして**エクスポート**タブに戻ります。



プレビュー画像には表示されないセルを持つグリッドがあります。選択するエリアにセルの一部が含まれている場合、セル全体にプライバシーマスクが追加されます。その結果、想定よりも若干多くの画像にプライバシーマスクが追加されることがあります。


ストーリーボード（説明付き）

ストーリーボード機能は、1つのカメラから、または複数のカメラからのビデオシーケンスと一緒に1つの結合フローに貼り付けるのに役立ちます。イベントのシーケンス、ストーリーボードを内部調査や法廷でのエビデンスとして使用することができます。

関連性のないシーケンスをすべてスキップしたり、必要のないビデオの長いシーケンスを見て、時間を無駄にすることを避けられます。また、関連性のあるビデオが含まれていないシーケンスの保存でストレージを無駄にすることも回避できます。

ストーリーボードのエクスポート

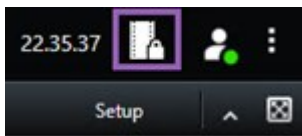
ビデオシーケンスを単一の結合フローに貼り付けてストーリーボードを作成し、エクスポートできます。

1. 再生モードで、まずストーリーボードに追加したいアイテムが含まれているビューを開きます。
2. タイムラインで  をクリックします。
3. ストーリーボードの開始時間と終了時間を選択します。
4. ビューで追加するアイテムごとに、該当するチェックボックス を選択し、**エクスポート>エクスポートリストに追加**をクリックします。
ストーリーボードに必要なアイテムをすべて追加するまで、手順1~4を繰り返します。
5. エクスポートプロセスを続行します。[82ページのエクスポート設定の調整](#)とを参照して[83ページのエクスポートを作成](#)ください。

ロックされたエビデンスビデオのエクスポート

エビデンスロックをエクスポートする場合には、カメラに関連するデバイスからのデータもエクスポートに含まれません。

1. 再生モードに切り替えます。
2. 右上隅にあるワークスペースツールバーで、**エビデンスロック**をクリックして、**ビュー**を選択します。
3. 再生モードではなくライブモードのままにしたい場合は、グローバルツールバーの**エビデンスロック**を選択します。



ユーザー権限があるデバイスの既存のエビデンスロックのリストが表示されます。

4. エビデンスロックを選択して、**[エクスポートリストに追加]**をクリックします。
5. エクスポートプロセスを続けます。「[82ページのエクスポート設定の調整](#)」と「[83ページのエクスポートを作成](#)」を参照してください。

エクスポートされたビデオの表示

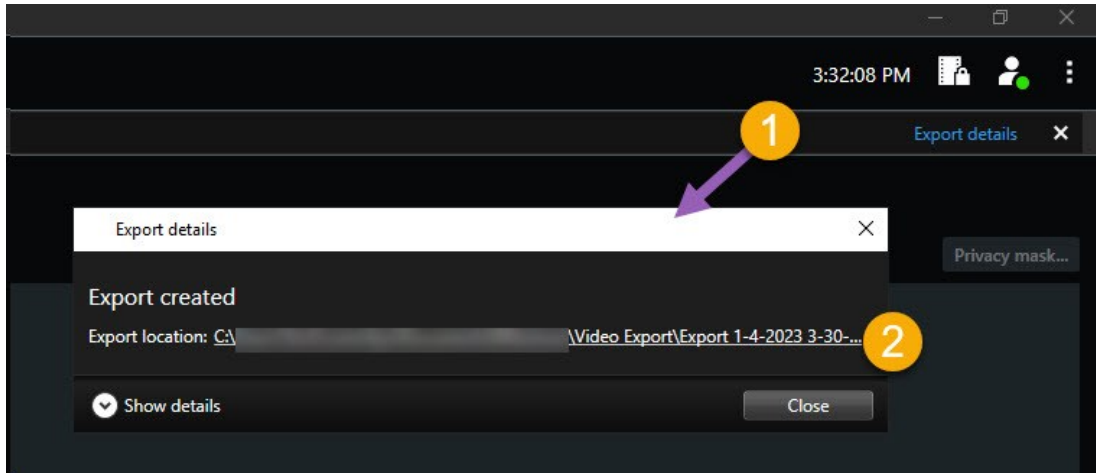
[エクスポートを作成] ウィンドウと **[エクスポート先]** フィールドで指定したフォルダーにエクスポートが作成され、保存されます。

1. 作成した直後にエクスポートされたビデオを表示するには、以下を実行します。

1. XProtect Smart Clientの右上で、**エクスポートの詳細**を選択します。

エクスポートの詳細ウィンドウ>**エクスポートの場所**フィールドで、出力フォルダーの場所がリンクで示されます。

2. リンクをクリックして出力フォルダーを開き、エクスポートされたファイルにアクセスします。



2. 過去のある時点のビデオをエクスポートした場合

1. エクスポートを保存するフォルダーにアクセスします。デフォルトの場所は、**C:\Users\[ユーザー名]\Documents\Milestone\Video Export**です。**エクスポートを作成**ウィンドウ>**エクスポート先**フィールドでフォルダーの場所を確認できます。これは、常に同じエクスポート先を使用している場合にのみ動作します。

2. 出力形式に応じて、該当するフォルダーを開き、ビデオファイルまたは静止画像をダブルクリックします。形式が**XProtect形式**の場合、.exe拡張子のついたSmart Client – Playerファイルをダブルクリックします。

監視レポートの印刷または作成

必要に応じて、監視カメラがとらえた静止画像をもとに監視レポートをその場で印刷するか、コンピュータに保存可能な監査レポートを作成できます。

単一カメラからレポートを印刷

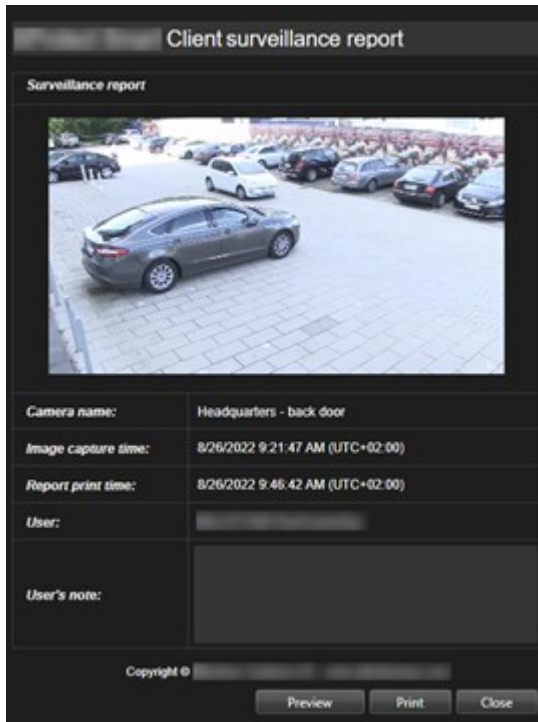
ライブカメラまたは録画ビデオからは、単一の静止画像と関連情報を印刷できます。追加したメモも印刷されます。

1. 記録した静止画像を印刷するには、再生モードに移動します。
2. ライブ静止画像を印刷するには、ライブモードに移動します。
3. 確認したいカメラが含まれるビューを開きます。

- 表示アイテムの上にカーソルを置きます。カメラツールバーが表示されます。



- アイコンをクリックします。ウィンドウが表示されます。




- 必要に応じてメモを追加します。
- 印刷**をクリックします。Windowsの**印刷**ダイアログが表示されます。
- 必要に応じて、印刷設定を変更してから印刷します。それ以外の場合は、そのまま**印刷**をクリックします。




組織でアラーム処理機能が使用されている場合は、アラームに関する情報も印刷できます。

検索結果からレポートを作成

検索結果をもとに、イベントまたはインシデントに関する情報（静止画像、イベント発生時刻、カメラに関する情報、メモなど）が含まれる監視レポートを作成することができます。レポートはPDFファイルとして保存されます。

- [検索]**タブに移動し、検索を実行します。
- レポートに含めたいそれぞれの検索結果にカーソルを当て、青いチェックボックス を選択します。
- ブルーのアクションバーで  をクリックします。ウィンドウが表示されます。

4. デフォルトのレポート名を、意味のある名前に変更します。レポートにおいては、名前はページの見出しとして表示されます。
5. レポートの保存先フォルダーを変更するには、**レポート先**セクションで  をクリックし、別のフォルダーを選択します。
6. オプションで、**レポートメモ**フィールドにメモを入力します。
7. **作成**をクリックします。レポートが生成されるとプログレスバーが表示されます。




8. レポートが生成されると、プログレスバーから**詳細**を選択します。
9. **開く**を選択してレポートを開くか、リンクをクリックしてレポートの保存先フォルダーを開きます。



レポートのレイアウトを変更するには、**設定**ダイアログを開いて**詳細**をクリックし、**PDFレポートのフォーマット**リストで別の値を選択します。

画像をクリップボードにコピー

選択したカメラから1つの静止画像をコピーできます。コピーした画像は、ワープロソフトやEメールクライアントなど、他のアプリケーションに（ビットマップ画像として）貼り付けることができます。1台のカメラからコピーできる画像は一度に1つだけです。

- カメラのツールバーで、**クリップボードにコピーする**ボタン  をクリックして画像をコピーします



任意のアプリケーションに画像をペースト（CTRL+V）できます。

用語集

A

AVI

ビデオでよく使用されるファイル形式。この形式のファイルには.aviというファイル拡張子が付いています。

C

CPU

「Central Processing Unit（中央処理装置）」の略語。OSとアプリケーションを実行するコンピュータのコンポーネント。

D

DirectX

高度なマルチメディア機能を提供するWindowsの拡張機能。

F

FIPS

「連邦情報処理規格」の略語。

FIPS 140-2

ソフトウェアまたはハードウェアを米国政府機関に販売する前にベンダーが暗号化で使用する必要のある重要なセキュリティパラメータを定義する米国政府規格。

FPS

フレーム数/秒。ビデオに含まれている情報量を示す単位。各フレームは1つの静止画像を表しますが、数多くのフレームを連続して表示することでモーションを見ているように見えます。FPSの値が高いほど、より滑らかなモーションになります。ただし、FPSが高くなるとビデオを保存したときのファイルサイズも大きくなります。

G

GOP

画像グループ（GOP、Group Of Pictures）：個別のフレームをグループ化し、ビデオモーションのシーケンスを形成します。

GPU

「Graphics Processing Unit（画像処理装置）」の略語。画像の処理を扱う演算装置。

H

H.264/H.265

デジタルビデオの圧縮規格。MPEGと同様、この規格には不可逆圧縮が使用されます。

I

Iフレーム

イントラフレームの略語。デジタルビデオ圧縮のMPEG規格で使用されます。Iフレームは指定された間隔で保存される単一のフレームです。Iフレームはカメラのビュー全体を録画しますが、その後のフレーム（Pフレーム）は変化したピクセルのみを録画します。これにより、MPEGファイルのサイズを大幅に縮小できます。Iフレームはキーフレームと類似していません。

J

JPEG

画像圧縮方法の1つで、JPGまたはJoint Photographic Experts Groupとも呼ばれます。この方法はいわゆる不可逆圧縮で、画像詳細の一部が圧縮時に失われることを意味します。この方法で圧縮した画像は、通常JPGまたはJPEGと呼ばれます。

L

LPR

「License Plate Recognition（ナンバープレート認識）」の略語。

M

MAC アドレス

メディアアクセスコントロールアドレスの意味で、ネットワーク上の各デバイスを一意に識別する 12 桁の 16 進数です。

Matrix

一部の監視システムに組み込まれている製品で、分散表示を可能にするためにリモートコンピュータ上でライブカメラビューを制御できます。Matrixによってトリガーされたビデオを表示する、Matrix 受信 PC と呼ばれるコンピュータ。

Matrix 受信 PC

Matrix によってトリガーされたビデオを表示するコンピュータ。

MIP

「Milestone Integration Platform」の略語。

MIP SDK

「Milestone Integration Platformソフトウェア開発キット」の略語。

MIP エlement

MIP SDK を介して追加されたプラグインElement。

MKV

「Matroska Video」の略語。MKV ファイルは、Matroska マルチメディアコンテナ形式で保存されるビデオファイルです。複数のタイプの音声およびビデオのコーデックに対応します。

MPEG

Moving Pictures Experts Group (MPEG) によって開発された、デジタルビデオの圧縮規格とファイルフォーマットの集合。MPEG 規格は不可逆圧縮を使用しており、キーフレーム間の変化のみを保存し、冗長する情報の多くを除外します。キーフレームでは指定された間隔でカメラのビュー全体のデータを保持しますが、他のフレームは変化したピクセルデータのみを保持します。これにより、MPEG ファイルのサイズを大幅に縮小できます。

P

P フレーム

予測フレームの略語。デジタルビデオ圧縮のMPEG規格は、PフレームとIフレームを使用します。Iフレームはキーフレームとも呼ばれ、指定した間隔で保存される単一のフレームです。Iフレームはカメラのビュー全体を録画しますが、その後のフレーム（Pフレーム）は変化したピクセルのみを録画します。これにより、MPEGファイルのサイズを大幅に縮小できます。

PoS

「Point of Sale（販売時点管理）」の略語。通常は小売店などのレジまたはレジカウンターを指します。

PTZ

パン/チルト/ズームの意味で、動きと柔軟性に優れたカメラです。

PTZ パトロール

複数のプリセット位置間での自動的なPTZカメラワーク。

Q

QVGA

320×240 ピクセルのビデオ解像度。QVGAは「Quarter Video Graphics Array」の略語です。320×240 ピクセルの解像度は標準的なVGA解像度（640×480 ピクセル）の4分の1なので、この名前が付けられました。

S

SCS

XProtect Smart Client の制御を目的としたスクリプトタイプで 사용되는ファイル拡張子 (.scs)。

Smart Wall コントロール

さまざまなモニターに表示される内容を制御できるビデオウォールを説明した図。

Smart Wall プリセット

XProtect Smart Client で 1 台以上の Smart Wall モニターに事前に設定したレイアウト。プリセットによ

り、ビデオウォールの各モニターに表示されるカメラとコンテンツの構成が決まります。

T

TCP

Transmission Control Protocol（伝送制御プロトコル）：ネットワーク上でデータパケットを送信する際に使用するプロトコル（規格）。TCP は多くの場合、別のプロトコルである IP（インターネットプロトコル）と組み合わせて使用されます。この組み合わせを TCP/IP と呼び、ネットワーク上の 2 つのポイント間でデータパケットを長時間にわたって送受信することができます。コンピュータとインターネット上にある別のデバイスの接続でも使用します。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略で、インターネットを含むネットワーク上でコンピュータと他のデバイスを接続する際に使用するプロトコル（規格）の組み合わせです。

V

VMD

ビデオモーション検知。IP ビデオ監視システムでは、多くの場合、モーションを検知するとビデオの録画が開始されます。これにより不必要な録画を防ぐことができます。ビデオの録画は、その他のイベントおよび/または時間スケジュールによって開始されることもあります。

VMS

「ビデオ管理ソフトウェア」の略語。

X

XProtect Transact

監視システムのアドオンとして使用できる製品。XProtect Transact では、時間にリンクした PoS または ATM トランザクションデータとビデオを組み合わせることができます。

あ

アーカイブ

カメラのデフォルトのデータベースから、別の場所へ自動的に録画を転送します。これにより、保存できる録画の量は、カメラのデフォルトのデータベースの最大サイズによる制限を受けません。アーカイブによって、任意のバックアップメディアに録画データを保存することもできます。

アスペクト比

画像の高さと幅の比率。

アダプティブストリーミング

映像デコーディング能力を向上させることで、XProtect Smart Client または他のビデオ閲覧クライアントが実行されているコンピュータのパフォーマンス全般を高める機能。

アラーム

XProtect Smart Client でアラームをトリガーするように監視システムで定義したインシデント。組織でこの機能を使用している場合、トリガーされたアラームは、アラームのリストまたはマップを含んでいるビューで表示されます。

い

イベント

監視システムで発生する定義済みの状態で、これを基に監視システムはアクションをトリガーします。監視システムの設定によっては、外部センサーからの入力、モーションの検知、あるいは他のアプリケーションから受け取ったデータによって、イベントが発生します。イベントの発生は、例えば、特定のフレームレートでのカメラ録画、出力の開始、電子メールの送信や、それら操作の組み合わせに使用できます。

え

エビデンスロック

保護され削除できないビデオシーケンス。

お

オーバーレイボタン

ライブモードでカメラがある個別のビューアイテムにマウスのカーソルを移動させた時に、ビデオの一番上のレイヤーとして表示されるボタン。オーバーレイボタンは、スピーカーの起動、イベント、出力、PTZ カメラの動作、録画開始、カメラからの信号の消去に使用します。

オペレータ

XProtect クライアントアプリケーションのプロフェッショナルユーザー。

か

カードホルダー

入退室管理システムで認識できるカードを所有し、1カ所以上のエリアや建物などの場所への立ち入りの権限を与えられている人物。入退室管理も参照。

カスタムオーバーレイ

建物内の平面図を示したり、区画の間に境界線をマークするなど、ユーザーがスマートマップに追加できるユーザー定義のグラフィック要素。カスタムオーバーレイには、画像、CAD 図面、あるいはシェープファイルなどがあります。

き

キーフレーム

デジタルビデオ圧縮の規格（MPEG など）で使用されます。キーフレームは指定された間隔で保存される単一のフレームです。キーフレームはカメラのビュー全体を録画しますが、その後のフレームは変化したピクセルのみを録画します。これにより、MPEG ファイルのサイズを大幅に縮小できます。キーフレームは1フレームに類似しています。

く

クラスター

デバイスまたはプラグイン要素の集合（または組み合わせ）。スマートマップ上では数字を囲む丸いアイコンとして表示されます。クラスターは特定のズームレ

ベルで現れ、特定の地理的エリア内のデバイスまたはプラグイン要素の数を示します。

こ

コーデック

エクスポートされた AVI ファイルなど、音声とビデオデータを圧縮および解凍するテクノロジー。

し

シーケンスエクスプローラー

シーケンスエクスプローラーは、ビュー内の各カメラまたはすべてのカメラからの録画シーケンスを表わすサムネイル画像を一覧表示します。サムネイル画像をドラッグして簡単に時間を移動でき、サムネイル画像を隣り合わせて比較できるため、多数のシーケンスにすばやくアクセスでき、最も適切なシーケンスを特定して、すぐに再生できます。

す

スナップショット

特定の時点におけるビデオフレームのインスタントキャプチャ。

スマートサーチ

1台以上のカメラが録画した1つ以上の選択されたエリアでモーションの検知されたビデオを見つける検索機能。

スマートマップ

地理的情報システムを使用して、地理的に正確かつ実世界のイメージで、監視システムのデバイス（カメラ、マイクなど）、構造、およびトポグラフィカル要素を視覚化するマップ機能。この機能の要素を使用するマップは、スマートマップと呼ばれます。

て

デッドゾーン

デッドゾーンは、情報をシステムに送信するためのジョイスティックハンドルの動作範囲を決定します。ジョイスティックのハンドルは、使用していない時は完全に垂直なのが理想的ですが、多くの場合、少し傾いています。PTZ カメラの制御にジョイスティックを

使用している場合、ジョイスティックが少しでも傾いていると PTZ カメラが動きます。このため、デッドゾーンを設定可能としておくことが望ましい場合があります。

は

パトロール設定

PTZ カメラを用いたパトロール実行方法の正確な定義（プリセット位置間の移動シーケンス、タイミング設定など）。「パトロールスキーム」とも呼ばれます。

ひ

ビュー

1台または複数のカメラからのビデオ群で、XProtect SmartClientで一緒に表示されます。ビューには、HTML ページや静止画像など、カメラからのビデオ以外のコンテンツが含まれている場合もあります。ビューには、個人ビュー（作成したユーザーのみ閲覧可能）と他のユーザーと共有できる共有ビューがあります。

ふ

ブックマーク

ビデオ録画の中の重要な時点で、ユーザーやユーザーの同僚が後から簡単に見つけられるように、ある時点にマークを付け、オプションとして注記を付けることもできます。

プライバシーマスク

カメラビュー内のビデオの領域をカバーするぼかし、あるいは単色。定義されたエリアは、クライアントのライブ、再生、ホットスポット、画面自動切替、スマートマップ、スマートサーチ、エクスポートモードで、ぼかされるか、隠されます。

プリセット位置

特定のイベントが発生したときに PTZ カメラが定義された異なる方向に自動的に向くようにしたり、PTZ パトロール設定を指定するために使用できます。

フ

フレームレート
モーションビデオに含まれている情報量を示す単位。通常、FPS（フレーム数/秒）で計算します。

へ

ペイン

XProtect Smart Client ウィンドウの左側にあるボタン、フィールドなどの小さな集まり。ペインでは、XProtect Smart Client のほぼすべての機能にアクセスできます。表示されるペインは、設定およびタスクにより異なります。例えば、ライブモードでライブビデオを見る場合と、再生モードで録画されたビデオを見る場合ではペインが異なります。

ほ

ポート

データトラフィックの論理的エンドポイント。ネットワークでは、データトラフィックの種類ごとに異なるポートが使用されます。そのため、場合によっては、特定のデータ通信でどのポートを使用するかを指定する必要があります。ほとんどのポートは、通信に含まれるデータの種類の基づいて自動的に使用されます。TCP/IP ネットワークの場合、ポート番号は 0~65536 ですが、0~1024 までは特定用途向けです。例えば、ポート 80 は Web ページの表示に使用される HTTP トラフィック用です。

ホットスポット

XProtect Smart Client のビューで拡大されるおよび/または高画質で表示されるカメラ画像の特定の位置。

ま

マップ

1) XProtect Smart Client ナビゲーションやステータスの可視化により、マップ、平面図、写真などを使用する機能。2) ビューで使用される実際のマップ、平面図、写真など。

れ

レイヤー

スマートマップ上の地理的背景、カスタムオーバーレイ、あるいはカメラなどのシステム要素。レイヤーは、スマートマップ上に存在するすべての地理的要素です。

を押すまでビデオや音声をテープに保存できなかったアナログ時代の用語に由来しています。

漢字

画面自動切替

XProtect Smart Client のビューで、複数のカメラからのビデオを次々に再生できる特定の位置。

外部 IDP

XProtect VMS に関連付けてユーザー ID 情報を管理し、ユーザー認証サービスを VMS に提供できる外部エンティティ。

魚眼レンズ

360° のパノラマ画像を作成、表示できるレンズ。

出力

コンピュータから送られるデータ。IP 監視システムで、出力はゲートやサイレン、ストロボなどのデバイスを起動するため、頻繁に使用されます。

静止画像

単一の静止画像。

入退室管理

建物や敷地に侵入する人物や車両、その他の存在をコントロールするセキュリティシステム。

録画

IP ビデオ監視システムでは、録画とはビデオを保存することを意味し、該当する場合、カメラからの音声を監視システムのデータベースに保存することも意味します。多くの IP 監視システムでは、カメラから受信したビデオと音声のすべてを保存する必要はありません。ビデオと音声の保存は、多くの場合、モーションの検知、特定のイベントの発生、あるいは特定の時間帯などの理由がある場合にのみ開始されます。そのため、モーションが検知されなくなったり、他のイベントが発生しなくなってから一定の時間が経つと、録画は停止します。録画という用語は、録音／録画ボタン



helpfeedback@milestone.dk

Milestone について

Milestone Systems はオープンプラットフォームのビデオ管理ソフトウェア（VMS）の世界有数のプロバイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネス効率の向上に役立つテクノロジーを提供しています。Milestone Systems は、世界の 15 万以上のサイトで実証された高い信頼性と拡張性を持つソリューションにより、ネットワークビデオ技術の開発と利用におけるコラボレーションとイノベーションを促進するオープンプラットフォームコミュニティを形成しています。Milestone Systems は、1998 年創業、Canon Group 傘下の独立企業です。詳しくは、<https://www.milestonesys.com/>をご覧ください。

